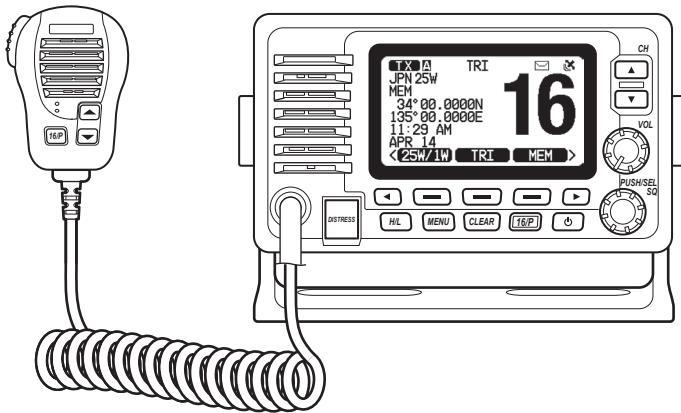


# 取扱説明書

## 国際 VHF トランシーバー

品番 UM725GJ



本製品を使用するには、総務省発給の無線局免許が必要です。免許を受けずに使用した場合、電波法第 110 条の規定により処罰の対象となります。

このたびはユニデン国際 VHF トランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。

[http://www.uniden.co.jp/uniden\\_jp/](http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/)

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>4</b>	<b>基本操作のしかた</b> .....	<b>20</b>
安全上のご注意.....	4	ご使用になる前に.....	20
使用上のご注意.....	7	チャンネルについて.....	20
電波法に関するご注意.....	7	電源を入れる／切る.....	21
運用上のご注意.....	7	音量の調節.....	21
非常時の運用について.....	8	スケルチレベルの調整.....	21
●DSC（デジタル選択呼び出し）機能を 使用して自動送信する場合.....	8	操作インターフェースについて.....	21
●16チャンネルを使用して手動送信する 場合.....	8	文中での表記について.....	21
お手入れについて.....	9	MMSI番号について.....	22
防水性能について.....	9	■MMSI番号を登録する.....	22
DSC機能について.....	9	受信と送信のしかた.....	23
		メニューについて.....	24
		■操作のしかた.....	24
		ソフトウェアキーについて.....	26
		設定する.....	28
		■一般的な設定 （GENERAL SETUPメニュー）.....	28
		■リモートマイクの設定 （REMOTE MIC SETUPメニュー）.....	29
		■本機の設定（RADIO SETUPメニュー）.....	30
		■時刻の設定.....	31
<b>ご使用前の準備</b> .....	<b>10</b>	<b>操作モード・ウォッチモードについて.....</b>	<b>32</b>
本体と付属品.....	10	■操作モード.....	32
各部のなまえ.....	11	■ウォッチモード.....	32
■本体（正面）.....	11	<b>スキャンモードについて.....</b>	<b>33</b>
■本体（背面）.....	12	<b>ウォッチモードについて.....</b>	<b>33</b>
■マイクロホン.....	12	■ノーマルモードとウォッチモードを 組み合わせて運用する.....	34
■液晶ディスプレイ.....	13	<b>メモリーチャンネルを設定する／解除する... 35</b>	
■文字入力の方法.....	15	■選局中のチャンネルを設定する.....	35
準備する.....	16	■メニューで設定する.....	35
<b>本体を設置する.....</b>	<b>16</b>	<b>スキャン操作のしかた.....</b>	<b>36</b>
■ブラケットに本体を取り付ける.....	16	■スキャンモードにする.....	36
■ブラケットを取付面に固定する.....	17	■スキャンモードを終了する.....	36
■マイクハンガーを固定する.....	17	■スキャンモードとウォッチモードを 組み合わせて運用する.....	37
■フラッシュマウントブラケットキット （FMB323、別売品）で取り付ける.....	17		
<b>アンテナを接続する.....</b>	<b>18</b>		
<b>電源および外部機器を接続する.....</b>	<b>18</b>		
アクセサリケーブル.....	19		
■ヒューズを交換するとき.....	19		

## DSC (デジタル選択呼び出し) 機能について 38

DSC 機能をお使いになる前に .....	38
DSC とは .....	38
■ DSC の動作 .....	39
DSC の設定 .....	40
DSC の個別およびグループディレクトリの 設定 .....	41
■ 個別ディレクトリの管理 .....	41
■ グループディレクトリの管理 .....	42
DSC 機能を使う .....	44
DSC コール .....	44
■ 個別呼び出し .....	44
■ グループ呼び出し .....	45
■ 全船呼び出し .....	46
■ 呼び出しに応答する (個別呼び出し/ グループ呼び出し/全船呼び出し) .....	47
■ 呼び出しへの自動応答 .....	48
■ テストコールの発信 .....	49
DSC コールログ .....	50
位置情報要求 .....	52
■ 位置情報要求を送信する .....	52
■ 自局の位置情報を送信する .....	52
■ オートポーリングを使用する .....	53
DSC セルフテスト .....	54
DISTRESS コール (遭難警報) の受信 .....	54
DISTRESS コール (遭難警報) の自動送信 .....	55
DISTRESS コール (遭難警報) の取り消し .....	56
■ MOB ソフトウェアキー .....	56

## GPS 機能について 57

GPS 機能を使う .....	57
■ GPS の設定 (GPS メニュー) .....	57

## ナビゲーション機能について 59

ナビゲーションを使う .....	59
ウェイポイント (地点) とルートを 設定する .....	59
■ ウェイポイントを設定する .....	59
■ ルートを設定する .....	60
ナビゲーションを使う .....	62
■ ウェイポイントナビゲーションの開始 .....	62
■ ルートナビゲーションの開始 .....	63
■ パラメータの設定 .....	64

## NMEA について 65

NMEA の運用 .....	65
■ NMEA0183 入力 .....	65
■ 位置データ出力 .....	66
■ NMEA2000 設定 (NMEA2000 SETUP MENU) .....	66
■ NMEA2000 デバイス選択 (SELECT DEVICE) .....	67

## ご参考 68

故障かなと思ったら .....	68
工場出荷時の設定に戻す (設定初期化) .....	69
チャンネルリスト .....	70
NMEA2000 PGN リスト .....	71
おもな仕様 .....	72
別売品一覧 .....	72
外形寸法図 .....	73

# はじめに

## 安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

### 絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
	 分解禁止	 電源プラグを抜く
	 ぬれ手禁止	

## 警告

直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に設置しないでください



ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。

落下したりはずれたりしないよう、確実に取り付けてください



取り付けが弱いと航行中にはずれる、落下するなどし、事故やけがの原因となる場合があります。

強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください



引火や火災、爆発の原因になります。

# 安全上のご注意 (つづき)



## 警告

製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください



火災、感電などの事故、または故障の原因になります。

煙が出ている、変なおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。

指定以外の電源・電圧では使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

DC電源ケーブルを接続する際は、プラス(+)とマイナス(-)の極性を間違えないよう十分確認してください

火災、感電、故障の原因になります。

DC電源ケーブルのヒューズホルダは、絶対に切断しないでください



ショートして発火、火災などの原因になります。

必ず規定のヒューズをご使用ください



規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

ケーブル類を踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

ケーブル類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



ショートして発火したり、故障や感電の原因になることがあります。

アンテナを取り付けずに送信したり、送信しながらアンテナを取り付けたり取りはずしたりしないでください



感電、故障の原因になります。

DC電源ケーブルのコネクター部分にホコリが付着したまま使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください



けが、故障の原因になることがあります。

雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、DC電源ケーブルには絶対に触らないでください



感電の原因となります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

乳幼児の手の届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

# 安全上のご注意 (つづき)

## 警告

マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください



けがや故障、破損の原因になります。

## 注意

本機を水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所に設置しないでください



火災、故障の原因になります。

使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。  
(※本製品の使用温度範囲：-20℃～+50℃)

本機を他の製品と重ねたり、本機どうしを重ねて設置しないでください



火災、故障の原因になります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に設置しないでください



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

ケーブル類を抜き差しするときは、必ずプラグの部分を持って行ってください



感電やショートし、発火の原因になることがあります。

雨水や水滴が付着したままの状態、またはぬれた手で電源ケーブルや接続ケーブルを抜き差ししないでください



感電の原因になることがあります。

コネクタや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください



ショートして発火の原因になることがあります。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください



電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

使用中は本機背面のヒートシンク(放熱器)部分に触れないようご注意ください



やけどのおそれがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください



変質・変色の原因になることがあります。お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

# ■使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## 電波法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。  
これは簡単な手続きにより本製品をお使いいただくためのものです。本製品を分解や改造して使用すると、電波法違反により罰せられます。
- 免許状に記載されている範囲内で運用してください。  
特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることはかたく禁じられています。
- 免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。  
再免許の申請手続きは、免許の失効する6ヵ月前から3ヵ月前の間に行ってください。

## 運用上のご注意

- 本製品を使用するには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。  
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は海上船舶用無線です。陸上など、海上の船舶以外で使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は25W固定（据置）型の無線機です。固定（据置）型として使用する無線機は、免許を受けてから5年ごとに定期検査を受ける必要があります。定期検査の受検については、所轄の管理局より届く通知の指示に従ってください。
- 運用中は16チャンネルを聴取するようにしてください。  
16チャンネルは、遭難・安全／呼出し専用の共通チャンネルです。一般通話には使用しないでください。  
また、指定されたチャンネル以外で通信した場合は、電波法違反で罰せられます。
- チャンネルは必ず日本チャンネル「JPN」でご使用ください。

# ■ 使用上のご注意 (つづき)

## 非常時の運用について

救助が必要な際は、下記の手順に従い DISTRESS コール (遭難警報) を送信します。

### ● DSC (デジタル選択呼び出し) 機能を使用して自動送信する場合

#### ご注意!

- ・ DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- ・ DSC 機能を使用するにはあらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。設定のしかたは「MMSI 番号を登録する」(➡ 22 ページ) をご覧ください。
- ・ [DISTRESS] キーを押した際、「ENTER MMSI」と表示された場合は、本機に自局の MMSI 番号が設定されていません。  
この場合は [CLEAR] キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用しての手动送信に切り換えてください。

- ① 保護カバー (赤色) を上げ、[DISTRESS] キーを長押し (約 3 秒) する  
本機は他局が送信した受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、自動的に遭難警報を 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。  
※ 送信される遭難警報には以下の情報が含まれます。
  - ・ 遭難の種類 (Undesignated distress) (その他の遭難)
  - ・ 位置情報
- ② 受信確認 (Acknowledge) を受信すると、自動的に 16 チャンネルに移行するので、PTT (送信) スイッチを押して必要な情報を伝える

### ● 16 チャンネルを使用して手动送信する場合

- ① 「MAYDAY (メーデー)、MAYDAY、MAYDAY」
- ② 「THIS IS (こちらは)」
- ③ 「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」 (3 回繰り返す)
- ④ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類
- ⑤ その他救助に際して有効と思われる情報を伝えます。



# ■使用上のご注意 (つづき)

## お手入れについて

本体に海水や砂、泥などが付着したときは真水でよく洗い流してください。  
その後乾いた柔らかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてください。

## 防水性能について

本製品は、IPX8 相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。  
次のような使いかたをした場合、防水性能を維持できませんのでご注意ください。

- 水深 1.5 m 以上の水中に沈めたとき、または 30 分以上水中に放置したとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口から直接水や湯を当てたとき
- 海水や砂、泥などが本体に付着したまま放置したとき
- 落下等の外的衝撃による樹脂部分の変形、ゆがみ、ひび割れなどが発生した場合
- 薬品等の付着により筐体、ゴムパッキン部が変質したり、劣化が生じたとき
- 薬品等の蒸気が発散する場所、または薬品等に触れる場所に放置したとき
- 電源コードや外部スピーカー等、本機に接続した外部機器との接続ケーブルに防水処理をしていない場合
- 使用温度範囲外で使用したとき

## DSC 機能について

本製品は、ITU クラス D に合致する DSC 機能を搭載しています。緊急時の通信や、グループ送信・個別送信、自船の位置情報送出などの便利な機能がお使いいただけます。

### DSC 機能をご使用になる際のご注意

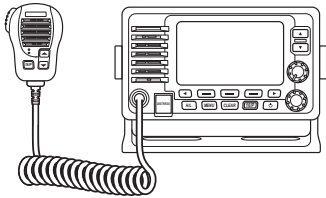
- DSC 機能を使用するには第 2 級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- DSC 機能を使用するにはあらかじめ本機に自局の MMSI 番号を登録しておく必要があります。登録のしかたは「MMSI 番号を登録する」(➡ 22 ページ) をご覧ください。

### ご参考

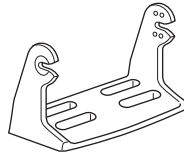
・本機は GPS レシーバーを搭載しており、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、万が一の際、正確な情報を送信することができます。GPS の位置情報が受信できない場合、これらの情報を手動にて頻繁に（最低 4 時間おき）入力しなければなりません。安全な航行のため、GPS が受信できる状態で運用されることを強くおすすめ致します。

# ご使用前の準備

## ■ 本体と付属品



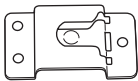
本 体



ブラケット



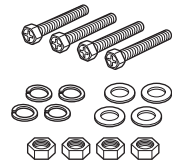
ブラケット取付用ノブ  
(一式)



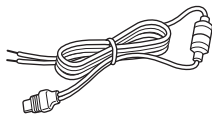
マイクハンガー



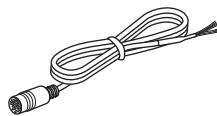
マイクハンガー取付ねじ



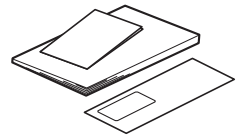
ブラケット取付ねじ(一式)



DC 電源ケーブル  
(ヒューズホルダ付・定格 6A)



アクセサリケーブル



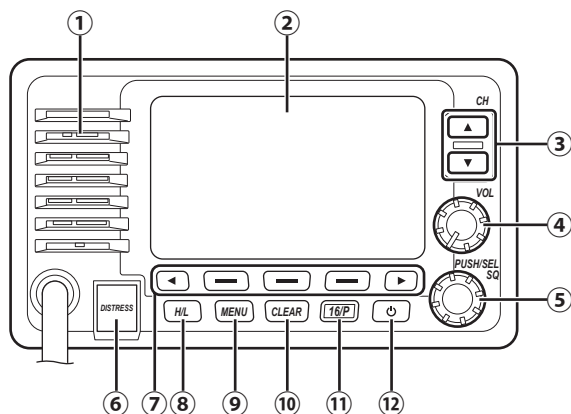
取扱説明書・保証書・  
申請書類 (一式)

※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。

※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

# 各部のなまえ

## ■ 本体 (正面)



### ① スピーカー

### ② 液晶ディスプレイ

表示内容について (⇒ 13 ページ)

### ③ [CH ▲/▼] CH アップ/ダウンキー

- ・ 運用チャンネルを選択します。  
(⇒ 23 ページ)
- ・ メニュー操作時、項目を選択します。

### ④ [VOL] 音量調節ノブ

時計方向に回すと音量が大きくなります。

### ⑤ [PUSH/SEL SQ] PUSH/SEL SQ ノブ

このノブを回したり、押ししたりして、メニューオプションをハイライト表示させたり、選択したり、スケルチの設定などを行います。

### ⑥ [DISTRESS] DISTRESS キー

非常時、DISTRESS コール (遭難警報) の送  
出に使います。

※保護カバー (赤色) を上げて押します。

### ⑦ ソフトウェアキー

画面下部に表示される項目を切り換え、選  
択、決定します。(⇒ 26 ページ)

### ⑧ [H/L] 送信出力キー

送信出力を 25W から 1W に変更します。  
(チャンネルの最大出力が 1W のみの場合  
は、出力は 1W のままです。)

### ⑨ [MENU] メニューキー

メニュー画面を開きます。(⇒ 24 ページ)

### ⑩ [CLEAR] クリアキー

メイン画面 (送受信画面) に戻ります。

### ⑪ [16/P] 16/P チャンネルキー

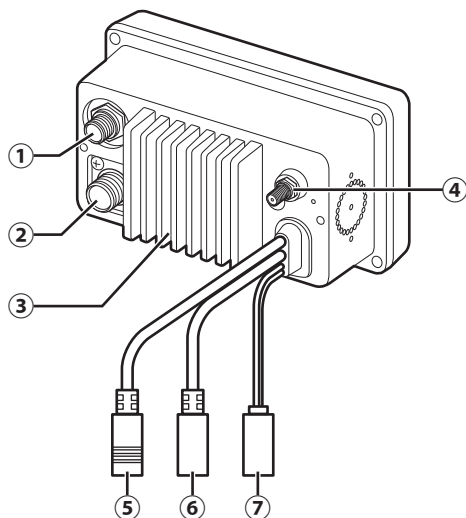
[16/P] キーを短く押すごとに 16 チャンネル、  
優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)、元  
のチャンネルの順に切り換わります。

### ⑫ [⏻] 電源キー

本機の電源をオン/オフします。

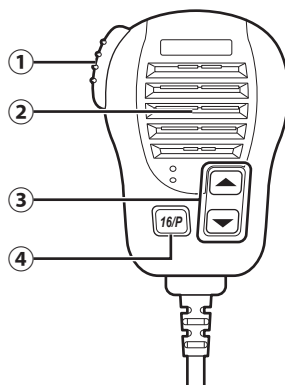
# 各部のなまえ (つづき)

## ■ 本体 (背面)



- ① NMEA 2000
- ② アンテナコネクタ
- ③ ヒートシンク
- ④ GPS 外部アンテナコネクタ
- ⑤ リモートマイク (UMRMICJ、別売品) コネクタ
- ⑥ アクセサリーコネクタ  
NMEA0183 / 外部スピーカー
- ⑦ 電源コネクタ

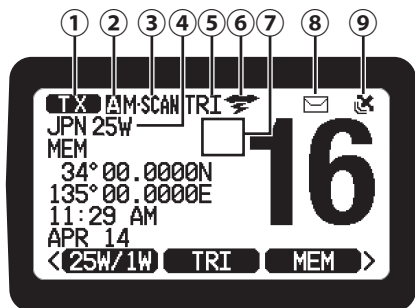
## ■ マイクロホン



- ① PTT (送信) スイッチ  
押している間は送信状態、離すと受信状態になります。(⇒ 23 ページ)
- ② スピーカー
- ③ [CH ▲ / ▼] CH アップ/ダウンキー
  - ・ 運用チャンネルを選択します。(⇒ 23 ページ)
  - ・ メニュー操作時、項目を選択します。
- ④ [16/P] 16/P チャンネルキー  
[16/P] キーを短く押すごとに 16 チャンネル、優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)、元のチャンネルの順に切り換わります。

# 各部のなまえ (つづき)

## ■ 液晶ディスプレイ



※画面は説明のためのものであり、実際の表示状態とは異なります。

### ① ステータス

状況に応じて各種ステータスメッセージが表示されます。

表示メッセージ	内容
TX	送信中
BUSY	受信中またはビジー

### ② オートポーリング

オートポーリング (⇒ 53 ページ) がオンのときに表示されます。

### ③ スキャンモード

スキャン中に表示されます。(⇒ 32 ページ)

表示メッセージ	内容
M・SCAN	メモリスキャン
A・SCAN	オールスキャン

### ④ 送信出力

### ⑤ ウォッチモード

ウォッチ中に表示されます。(⇒ 32 ページ)

表示メッセージ	内容
TRI	トリプルウォッチ
DUAL	デュアルウォッチ

### ⑥ ウェザーアラート (気象警報) アイコン

ウェザーアラート (気象警報) の動作中に表示されます。(⇒ 27 ページ)

#### ご注意!

・ウェザーチャンネルおよびウェザーアラートは、米国およびカナダにおいて放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。

### ⑦ 4 桁のチャンネル表示エリア

・日本チャンネル (JPN) モードでは使用しません。

### ⑧ DSC コールログ

DSC コールログが利用可能のときに表示されます。(⇒ 50 ページ)

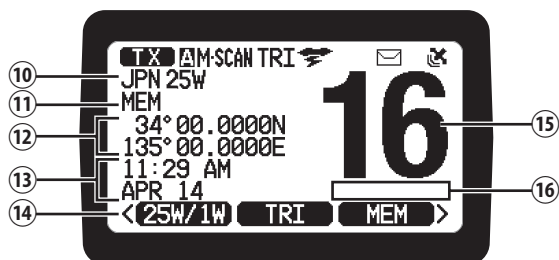
### ⑨ GPS ステータス

状況に応じて各種アイコンが表示されます。(点滅…取得中、点灯…取得済み)

表示メッセージ	内容
📶	内蔵 GPS
N	外部 NMEA0183 からの GPS 信号
2K	外部 NMEA2000 からの GPS 信号

# 各部のなまえ (つづき)

## ■ 液晶ディスプレイ (つづき)



※画面は説明のためのものであり、実際の表示状態とは異なります。

### ⑩ チャンネルモード

選択しているチャンネルモードが表示されます。

JPN	日本
INT	国際チャンネル
USA	米国

- ・チャンネルは必ず日本チャンネル「JPN」でお使いください。

### ⑪ メモリーチャンネル

(⇒ 35 ページ)

### ⑫ 緯度 (上段) ・経度 (下段)

### ⑬ 時刻 (上段) ・日にち (下段)

### ⑭ ソフトウェアキーラベル

(⇒ 26 ページ)

### ⑮ チャンネル番号

現在選択している運用チャンネル番号を表示します。



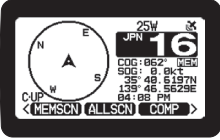
### ⑯ チャンネル名

運用中のチャンネル名を表示します。

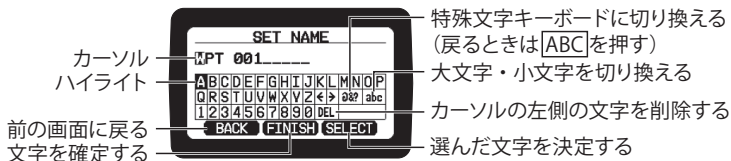
- ・日本チャンネル (JPN) では「RADIO SETUP」メニューの「CHANNEL NAME」でチャンネル名の設定が必要です。  
(⇒ 30 ページ)

# 各部のなまえ (つづき)

※ 以下は通常時（送受信時）以外でもおに表示される画面の一例です。

メニュー画面		<p>[<b>PUSH/SEL SQ</b>] ノブ、<b>CH</b> [▲] [▼] キー、画面上に表示されるソフトウェアキーなどを使用して、本機の設定や機能にアクセスします。</p>
キーボード画面		<p>設定時、文字入力が必要な場合に表示されます。 ※ 文字入力のしかたについては下項参照</p>
コンパス画面		<p><b>COMP</b> を押すと、コンパス画面が表示されます。 ※ 設定によっては表示が異なる場合があります。</p>

## ■ 文字入力のしかた



### 1 キーボード画面上的のハイライトを動かし、文字を選びます。

[ <b>PUSH/SEL SQ</b> ] ノブを回す	キーボードのハイライトを一文字ずつ移動します。
<b>CH</b> [▲] [▼] キーを押す	キーボードのハイライトを上下に移動します。
[◀] [▶] キーを押す	文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

### 2 [**PUSH/SEL SQ**] ノブを押す、または**SELECT**を押して選んだ文字を決定します。

### 3 全ての文字を入力後、文字を確定するには**FINISH**を押します。

# 準備する

## 本体を設置する

付属の本体取付ブラケットを使用して本体を取り付けてください。

ブラケットの取付方向を変えることにより「据え置き」、「吊り下げ」いずれかの方法で取り付けることができます。

### ご注意！

取付場所の選定に際しては、以下の点にご留意ください。

- ・操船に支障がないか
- ・設置する場所の近傍に磁気コンパスがないか
- ・各スイッチやツマミなどの操作は容易に行えるか
- ・後面のケーブル類が折れ曲がったりすることなく納まる十分な空間があるか
- ・熱がこもらないよう周囲（特に後面）に十分な空間があるか
- ・波の衝撃やエンジンの振動などを大きく受ける場所ではないか
- ・水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所ではないか
- ・取付面は本体（重さ約 1kg）を支えるのに十分な強度があるか

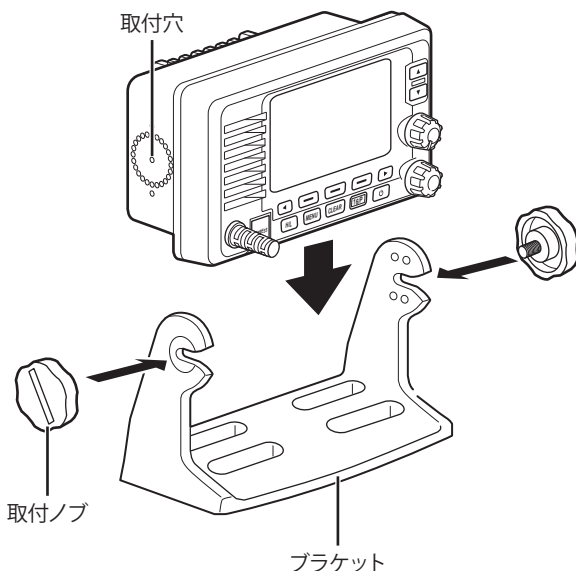
## ■ ブラケットに本体を取り付ける

- 1 ブラケットの切れ込みを本体左右の取付穴に合わせます。

※ 右図は「据え置き」取り付けの場合です。「吊り下げ」取り付けの場合はブラケットを天地逆にして取り付けてください。

- 2 ブラケットを挟み込むようにして取付ノブを締め付けます。

きつく締め付ける前に、ディスプレイ部が見やすい角度になるよう本体を調整してください。

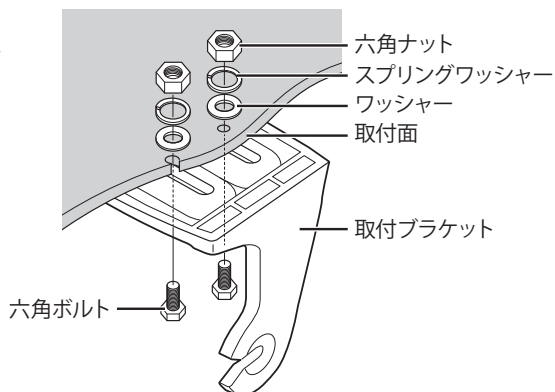




# 準備する (つづき)

## ■ ブラケットを取付面に固定する

付属の取付ねじ類を使用して、右図の要領で取付面にしっかりと固定してください。



## ■ マイクハンガーを固定する

本体の取付位置が決まったら、本体付近の扱いやすい場所に、付属のマイクハンガーを取付金具を使用して取り付けてください。

## ■ フラッシュマウントブラケットキット (FMB323、別売品) で取り付ける

14 cm × 7.2 cm の開口部が必要となります。また、背面の配線類を収納するため、後方には 9 cm 以上のクリアランスを確保してください。

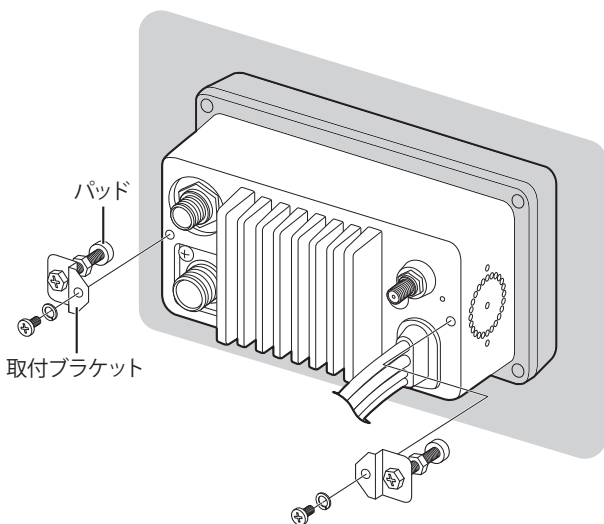
※ 開口部寸法について (⇒ 75 ページ)

**1** 開口部に本機をスライドさせて差し込みます。

**2** 取付ブラケットを本機背面のねじ穴に合わせます。

**3** ねじを締め付けて固定します。

取付ブラケットのパッドを、取付面の内側にしっかりと押し付けてください。



# 準備する (つづき)

## アンテナを接続する

アンテナは船舶用国際 VHF アンテナをご用意ください。  
本体との接続には PL-259 コネクタを使用してください。  
※ 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

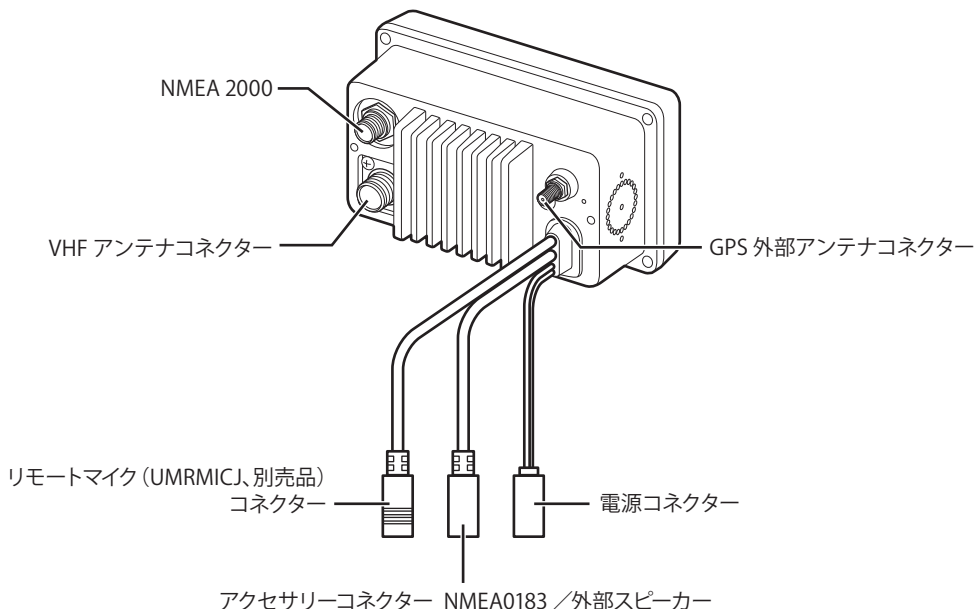
### ご注意!

- ・本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信を行わないでください。  
接続しないで使用すると、故障の原因となります。

## 電源および外部機器を接続する

下図を参照して電源、外部 GPS アンテナなどの外部機器を接続してください。

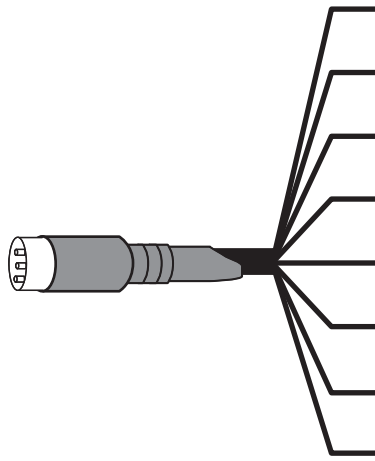
- ※ 本機に入力可能な NMEA 規格は、NMEA2000、NMEA 0183 ver. 2.00、3.01 または 4.10 です。
- ※ 本機が対応している NMEA センテンスは、RMC/GLL/GNS/GGA/ZDA の 5 通りです(RMC 推奨)。
- ※ 外部スピーカーは 4 Ω 時 10W 以上のものが使用可能です。
- ※ 外部機器の接続後は必ず、接続部分を自己融着ブチルテープ等で絶縁・防水処理してください。
- ※ 外部機器について詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



# ■ 準備する (つづき)

電源要件	VHF アンテナ要件
マイナス接地極付きの公称 13.8 V (10.5 DCV ~ 16.0 DCV) の直流電源であること。 できる限り短い電源リード線を電源に直接接続すること。  銅線の長さ(と最小) 太さ: ・ ~ 6.1 m (20 ft) まで… 14 AWG ・ 6.1 ~ 10.7 m (20 ~ 35 ft) … 12 AWG ・ 10.7 ~ 18.3 m (35 ~ 60 ft) … 10 AWG	船舶用国際 VHF アンテナ ・ PL-259 コネクタ (M 型コネクタ) ・ インピーダンス: 50 Ω (不平衡) 推奨アンテナケーブル: ・ ~ 6.1 m (20 ft) … RG-58 ・ 6.1 ~ 10.7 m (20 ~ 35 ft) … RG-8X ・ 10.7 ~ 18.3 m (35 ~ 60 ft) … RG-8U ※ 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## アクセサリケーブル



線色	説明	接続先
黄	NMEA 入力 (+)	GPS 受信機からの NMEA Data OUT (+) コネクタ
緑	NMEA 入力 (-)	GPS 受信機からの NMEA Data OUT (-) コネクタ
白	NMEA 出力 (+)	海図プロッターの NMEA Data IN (+) コネクタ
茶	NMEA 出力 (-)	海図プロッターの NMEA Data IN (-) コネクタ
赤	外部スピーカー (+)	外部スピーカー (+)
裸線	接地 / 外部スピーカー (-)	外部スピーカー (-)
黒	NC (接続しない)	
橙	NC (接続しない)	

## ■ ヒューズを交換するとき

図の要領でヒューズホルダをはずし、中のヒューズを交換してください (定格 6A)。



- ※ ヒューズは必ず規定のものをお使いください。
- ※ ヒューズホルダをはずす際は、折り曲げすぎないようにご注意ください。折り曲げすぎると中のヒューズが破損します。

# 基本操作のしかた

## ■ ご使用になる前に

### チャンネルについて

#### 16 チャンネル

遭難緊急安全通信チャンネルです。他局との初期通信の確立に使用したり、緊急連絡用として使用します。そのため、待受け中も必ずモニターする必要があります。

また、このチャンネルはデュアル・トリプルウォッチの対象チャンネルとなっており、各ウォッチモードの動作時にはこのチャンネルが必ずモニターされます。

#### 優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)

本製品は 16 チャンネルとは別に、頻繁に使用するチャンネルを簡単に呼び出せる機能があります。初期設定では、優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL) として 9 チャンネルが設定されています。

(⇒ 30 ページ)

- ・ **[16/P]** キーを短く押すごとに 16 チャンネル、優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL)、元のチャンネルの順に切り換わります。

#### 日本チャンネル

本機で利用できる日本チャンネル数は 57 チャンネルです。

- ・ 日本チャンネルグループ選択時、「JPN」が点灯します。
- ・ **CH** **[▲]** **[▼]** キーを押してチャンネルを選択します。

#### ご注意！

- ・ 本製品は「RADIO SETUP」メニューの「CHANNEL MODE」設定で日本「JPN」、国際チャンネル「INT」、および米国「USA」に切り換えることができますが、日本の国内、海域および近海で国際・米国の両チャンネルを使用することはできません。必ず「JPN」が点灯した状態で使用してください。

#### ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて放送・運用されている、NOAA のウェザーチャンネルを受信するために使用するチャンネルです。

#### ご注意！

- ・ ウェザーチャンネルは、米国およびカナダにおいて放送あるいは送信されています。日本の国内、海域および近海では受信できません。

# ご使用になる前に (つづき)

## 電源を入れる／切る

[**⏻**] (電源) キーを長く押す (約 1 秒) と、電源がオンになります。  
電源をオフにするときは、画面表示が消えるまで [**⏻**] キーを押し続けます。

## 音量の調節

音量は [**VOL**] (音量調節) ノブを回して適切な大きさに調整します。

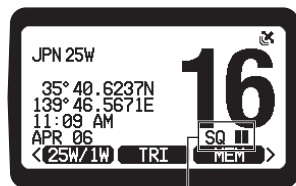
- ・ 時計方向に回すと音量が上がります。
- ・ 反時計方向に回すと音量が下がります。

## スケルチレベルの調整

スケルチレベルは、スタンバイ状態 (送受信画面) で [**PUSH/SEL SQ**] ノブを押し、ノブを回して調整します。

無信号時のノイズを低減したり、スキャンを効率よく行うため、適切なレベルに調整してください。

- ・ [**PUSH/SEL SQ**] ノブを押すと、チャンネル番号下にスケルチレベルが表示されます。
- ・ 時計方向に回すとスケルチは開きにくくなります。
- ・ 反時計方向に回すとスケルチが開きやすくなり、弱い信号でも受信しやすくなります。



スケルチレベル

調整後、 [**PUSH/SEL SQ**] ノブを押して確定します。

## 操作インターフェースについて

本機は、本体正面にあるキーを押して行う操作と、ノブを回して項目を選択し、ノブを押して確定する操作のほか、画面下部に表示されるソフトウェアキーを左右にスクロール表示させ、表示に連動したキーで操作する、ソフトウェアキーによる操作 (⇒ 26 ページ) があります。

### 文中での表記について

なお、各インターフェースによる操作について、本書では以下のように表記しています。

操作キー	例： [ <b>MENU</b> ] キー
ノブ	例： [ <b>PUSH/SEL SQ</b> ] ノブ
ソフトウェアキー	例： <b>SELECT</b>

# ■ ご使用になる前に (つづき)

## MMSI 番号について

初めて電源を入れると、MMSI 未入力 of メッセージ画面が表示されます (下記手順 1 参照)。DSC 機能を使用するには、自局の MMSI 番号 (免許状に記載された 9 桁の自局 ID 番号) を本機に登録しておく必要があります。

※ MMSI 番号を入力しない場合でも本機を使用することはできますが、一部の機能および DSC 機能を使用することはできません。

## ■ MMSI 番号を登録する

### ご注意!

- ・ 自局 MMSI 番号の登録は 1 回のみです。登録の際は間違えないようくれぐれもご注意ください。  
変更する必要がある場合は、お客様センターにお電話いただくか、または当社ホームページよりお問い合わせください。  
(→裏表紙をご覧ください)

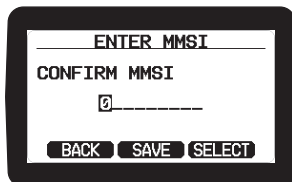
- 1 本機の電源がオンになるまで、[ON] キーを押し続ける (約 1 秒)

画面にメッセージが表示されます。



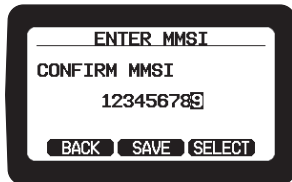
- 2 **PROG** を押す

MMSI 入力画面が表示されます。



- 3 **[PUSH/SEL SQ]** ノブを回して数字を選び、**SELECT** を押して選んだ番号を決定する

MMSI 番号の 9 桁の数字を入力してください。



- 4 入力後、**FINISH** を押す

確認用の MMSI 入力画面が表示されます。

- 5 MMSI 番号を再度入力後、番号を確認し、**SAVE** を押す


# ご使用になる前に (つづき)

## 受信と送信のしかた

- 1 本機の電源がオンになるまで、[**⏻**] キーを押し続ける (約 1 秒)
- 2 [**VOL**] ノブを回して音量を調節する
- 3 [**PUSH/SEL SQ**] ノブを押してスケルチ調整モードにし、ノブを回してノイズが消えるレベルに調整した後、[**PUSH/SEL SQ**] ノブを押す

### 4 運用するチャンネルを選ぶ

**CH** [**▲**] [**▼**] キーを押す、または [**PUSH/SEL SQ**] ノブを回して運用するチャンネルを選択します。


 **CH** [**▲**] [**▼**] キーの場合、短く押すと1チャンネルごと、押し続けるとチャンネルを早送りできます。

信号を受信すると、スピーカーから音声聞こえます。  
(必要に応じ、再度音量を調節してください。)

### 5 [**H/L**] (送信出力) キーを押して送信出力を選ぶ

通信距離に応じて適切な送信出力を選びます。

1W	近距離通信の場合
25W	長距離通信の場合

 チャンネルによっては 1W しか使えないチャンネルもあります。  
チャンネルリスト (➡ 70 ページ) も併せてご参照ください。

### 6 PTT (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ディスプレイ部に「TX」と表示されます。

### 7 話し終わったら、PTT (送信) スイッチを離す

受信状態に戻ります。

#### ● タイムアウトタイマー機能

本製品は 5 分間連続して送信状態が続いた場合、強制的に送信を停止します。

#### ● マイクに向かって話すときは…

マイクと口元は 5cm ほど離し、普通のお話の大きさの声でお話してください。

マイクに近づけすぎたり大きな声で話すと、音が割れるなど、かえって不明瞭となります。

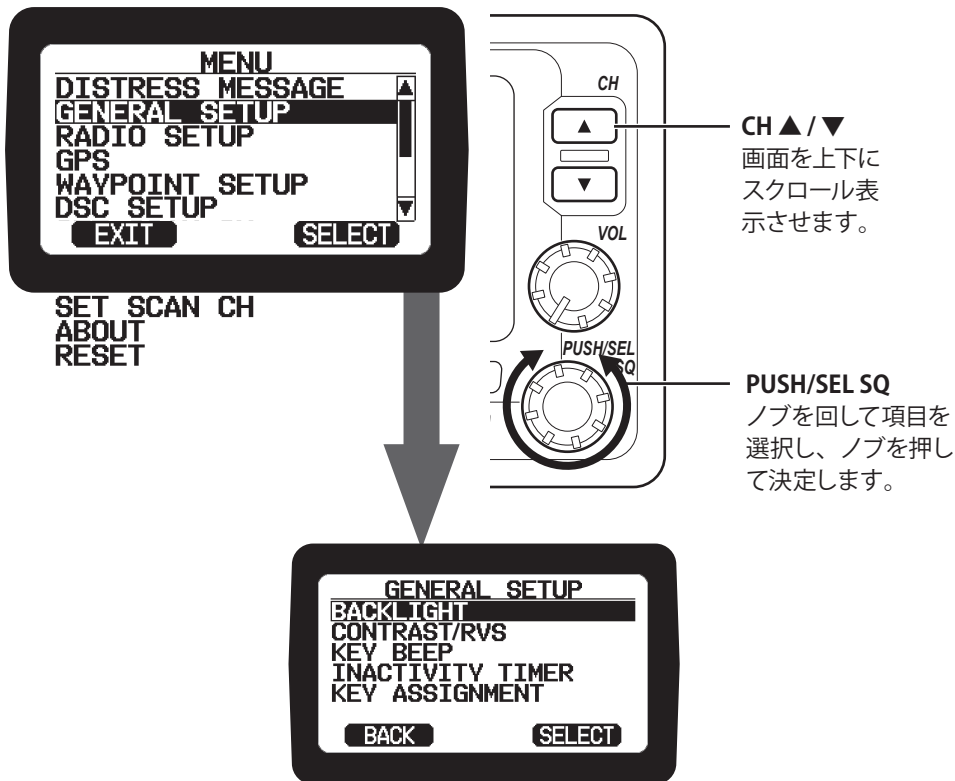
# ご使用になる前に (つづき)

## メニューについて

メニュー画面から、本機の設定やさまざまな機能にアクセスできます。

### ■ 操作のしかた

- 1 **[MENU]** キーを押し、メインメニューを開く
- 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブを回してメニュー項目を選ぶ  
**CH** [▲] [▼] キー、[◀] [▶] キーを押しでも選択できます。
- 3 選んだ項目を確定するには **SELECT** を押す、または **[PUSH/SEL SQ]** ノブを押す  
**BACK** を押すとひとつ前の画面に戻ります。



- 4 メニューを終了するには **EXIT** を押す、または **[CLEAR]** キーを押す



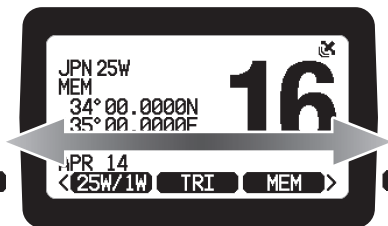
# ■ご使用になる前に (つづき)

メインメニュー	説明
DISTRESS MESSAGE	無線機の [DISTRESS] キーが押されたときに発信される遭難メッセージのタイプを選択します。(➡ 55 ページ)
GENERAL SETUP	バックライトやキータッチ音など、本機に関する一般的な設定が行えます。(➡ 28 ページ)
RADIO SETUP	本機の優先度やウェザーアラートなどの設定が行えます。(➡ 30 ページ)
GPS	GPS に関する設定の他、距離や速度の単位設定、NMEA0183、NMEA 2000 外部機器の設定、時刻の設定が行えます。(➡ 31, 57 ページ)
WAYPOINT SETUP	ウェイポイント (ランドマーク) は、2 つの位置の間の特定の点をマークしています。これらのポイントは、方向指示手段として機能します。(➡ 59 ページ)
DSC SETUP	船舶間通信やグループ通信のための連絡先の設定など、DSC (デジタル選択呼び出し) 機能の設定が行えます。(➡ 40 ページ)
SET SCAN CH	特定のチャンネルに関してスキャンのオン/オフを切り換えます。(➡ 36 ページ)
ABOUT	機種番号、ソフトウェアとハードウェアのバージョン、シリアル番号、MMSI 番号が表示されます。
RESET	本機を工場出荷時の設定にリセットします (MMSI 番号を除く)。

# ご使用になる前に (つづき)

## ソフトウェアキーについて

[◀] [▶]のスクロールキーで画面下部の表示項目を切り換え、該当する項目の下にある[—] キーを押して項目を確定します。



ソフトウェアキーをスクロール表示します

ソフトウェアキーを選択・確定します



ソフトウェアキー	説明
<b>MOB</b>	(Man Over Board) GPSが自動的に現在地を MOB(落水地点)として保存し、ウェイポイントディレクトリに緯度、経度、時刻、BRG (Bearing to Destination: 目的地点の方位)、および DIST (Distance to Destination: 目的地点までの距離) を表示します。(⇒ 56 ページ) 保存された位置情報は、ウェイポイントとして使用できます。(⇒ 62 ページ) (ウェイポイントディレクトリには「MOB XXX」と表示されます。名前は変更することができます。)
<b>WX</b>	ウェザーチャンネルを表示します。 [PUSH/SEL SQ] ノブを回してウェザーチャンネルを選択します。 ※ ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。
<b>CALL</b>	DSC (デジタル選択呼び出し) 機能のメニューを表示します。
<b>25W/1W</b>	1W あるいは 25W の送信出力を選択できます。ディスプレイ左上方に送信出力が表示されます。 (選択したチャンネルの出力が 1W に制限されている場合は、送信出力は 1W のままで、無線機からエラー音が鳴ります。)
<b>DUAL</b> <b>TRI</b>	設定 (⇒ 30 ページ) に応じて「TRI」または「DUAL」が表示されます。 「TRI」が表示されている場合は、現在のチャンネル、チャンネル 16、および優先チャンネルをスキャンします。 「DUAL」が表示されている場合は、現在のチャンネルとチャンネル 16 をスキャンします。
<b>MEM</b>	現在のチャンネルをメモリーチャンネルに保存します。(⇒ 35 ページ) すでにメモリーに保存されているチャンネルの場合は、このキーを選ぶとメモリーからチャンネルが削除されます。

# ご使用になる前に (つづき)

ソフトウェアキー	説明
<b>MEMSCN</b>	メモリーに保存されているチャンネルをスキャンします。
<b>ALLSCN</b>	使用可能なすべてのチャンネルをスキャンします。
<b>COMP</b>	コンパス (Compass) 画面を開きます。 N-UP モードが選択されると、サークルの上部が北になります。 すでに N-UP モードが選択されている場合は、C-UP モードに変わります。 C-UP モードでは、サークルの上部が進行方向になります。
<b>NAVI</b>	すでに目的地点として保存されているルート、またはウェイポイントにアクセスします。(→ 62 ページ)
<b>WPT</b>	ウェイポイント (Waypoint) とは、システムに保存した位置の座標を示します。ナビゲーション先としてウェイポイント (すでに本機に保存されている位置の座標) を選択します。(→ 62 ページ)
<b>BACKLT</b>	押すたびに、バックライトの点灯色を橙色または白色に切り換えます。
<b>MMSI</b>	自局の MMSI 番号を表示します。
<b>SPKR</b>	スピーカーに水が入ったときに、スピーカーに付着した水分を、トーンによる振動で弾き飛ばすことができます (大きな音が鳴ります)。
<b>INT/PG</b>	本体とリモートマイク間での通話を行う際、このキーを押してインターカムモードにします。長押しすると、ページトーンが鳴ります。 ※ リモートマイク (UMRMICJ、別売品) が必要です。 ※ インターカムモード中に本体マイクの PTT(送信) スイッチを押して話す、本体からリモートマイクのスピーカーに送話できます。反対にリモートマイクの PTT(送信) スイッチを押して話す、リモートマイクから本体スピーカーに送話できます。 ※ インターカムモード中は、PTT(送信) スイッチを押しても無線の送信はできません。
<b>WX ALT</b>	ウェザーアラート (気象警報) を有効にします。 ※ ウェザーチャンネルは米国およびカナダで放送・運用されているサーブスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。
<b>MK POS</b>	自船の現在位置を、ウェイポイントとしてウェイポイントディレクトリに保存します。(→ 59 ページ) 保存された位置情報は、ウェイポイントとして使用できます。(→ 62 ページ) (ウェイポイントディレクトリには「MARK XXX」と表示されます。名前は変更することができます。)

# 設定する

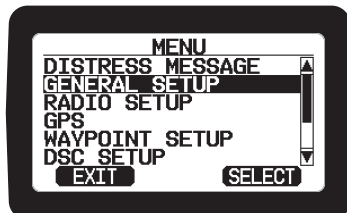
本機の基本的な設定について説明します。設定は必要に応じていつでも変更できます。

## ■ 一般的な設定 (GENERAL SETUP メニュー)

- 1** [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブを回して「GENERAL SETUP」メニューを選び、**SELECT**を押す

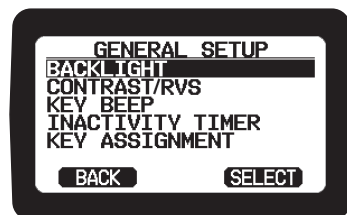
「GENERAL SETUP」のメニューが表示されます。

※ [PUSH/SEL SQ] ノブを押してもメニューを開くことができます。



- 2** [PUSH/SEL SQ] ノブと CH [▲] [▼] キーで以下の設定を行う

GENERAL SETUP メニュー		
BACKLIGHT	BACKLIGHT LEVEL	本体ディスプレイ部および操作部のバックライトの明るさを OFF、LEVEL 1 ~ 8 に調整できます。
	BACKLIGHT COLOR	本体ディスプレイ部のバックライトの色を WHITE (白色) または AMBER (アンバー色) に変更できます。
CONTRAST/RVS		本体ディスプレイ部のコントラストを LEVEL 1 ~ 20 に調整できます。また RVS を押すと、画面の白黒表示を反転します。
KEY BEEP		本体のキータッチ音を OFF、LEVEL 1 ~ 7 に設定できます。
INACTIVITY TIMER		設定した時間 (1、2、3、5、8、10 分間) 操作が行われないと、画面表示がメイン画面に戻ります。
KEY ASSIGNMENT		ソフトウェアキーの機能を並べ替えます。



# 設定する (つづき)

## ■ リモートマイクの設定 (REMOTE MIC SETUP メニュー)

本機はリモートマイク (UMRMICJ、別売品) に対応しています。

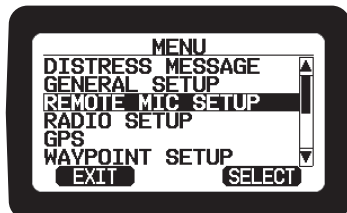
※ 「REMOTE MIC SETUP」メニューは、リモートマイクが接続されている場合にのみ表示されます。

**1** リモートマイク (別売品) を本機背面のリモートマイクコネクタに接続する

**2** [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブを回して「REMOTE MIC SETUP」メニューを選び、**SELECT** を押す

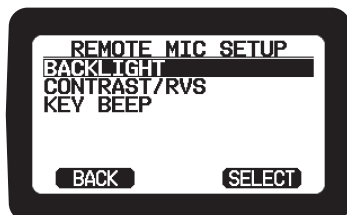
「REMOTE MIC SETUP」のメニューが表示されます。

※ [PUSH/SEL SQ] ノブを押してもメニューを開くことができます。



**3** [PUSH/SEL SQ] ノブと CH [▲] [▼] キーで以下の設定を行う

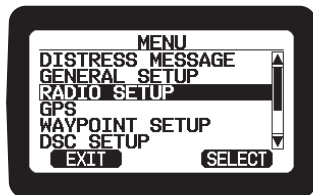
REMOTE MIC SETUP メニュー		
BACKLIGHT	BACKLIGHT LEVEL	リモートマイクディスプレイ部および操作部のバックライトの明るさを OFF、LEVEL 1～8 に調整できます。
	BACKLIGHT COLOR	リモートマイクディスプレイ部のバックライトの色を WHITE (白色) または AMBER (アンバー色) に変更できます。
CONTRAST/RVS	リモートマイクディスプレイ部のコントラストを LEVEL 1～20 に調整できます。 また RVS を押すと、画面の白黒表示を反転します。	
KEY BEEP	リモートマイクのキータッチ音を OFF、LEVEL 1～7 に設定できます。	



# 設定する (つづき)

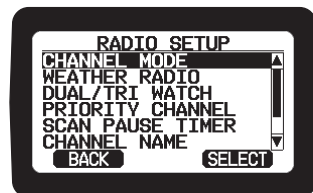
## ■ 本機の設定 (RADIO SETUP メニュー)

- 1** [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブを回して「RADIO SETUP」メニューを選び、**SELECT** を押す  
「RADIO SETUP」のメニューが表示されます。  
※ [PUSH/SEL SQ] ノブを押してもメニューを開くことができます。



- 2** [PUSH/SEL SQ] ノブと CH [▲] [▼] キーで以下の設定を行う

RADIO SETUP メニュー	
CHANNEL MODE	JAPAN (日本)、INTERNATIONAL (国際)、USA (米国) ※ チャンネルは必ず日本チャンネル「JAPAN」でお使いください。
WEATHER RADIO	WEATHER ALERT WATCH の有効・無効の切り換えと、FIPS コードの入力ができます。 ※ ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。そのため、この設定は「OFF」にして運用してください。
DUAL/TRI WATCH	ウォッチモードの「トリプルウォッチ」と「デュアルウォッチ」を切り換えます。
PRIORITY CHANNEL	優先チャンネルを設定します (初期値: 9 チャンネル)。
SCAN PAUSE TIMER	スキャン中に受信された発信に留まる時間を設定します (1、2、3、4、5、10 秒)。
CHANNEL NAME	チャンネル名を設定するときに使います。設定したいチャンネルを選択し、「RENAME」を押します。チャンネル名を入力したら、「SAVE」を押して保存します。「RESET」を押すと全てのチャンネル名が初期値の未設定 (空白) になります。
NOISE CANCEL	送受信時のノイズキャンセルをオン/オフします。
RECEIVE AUDIO PITCH	NORMAL (標準)、MID RANGE (中域強調)、HIGH BOOST (高域強調)、LOW BOOST (低域強調) を選択します。



# 設定する (つづき)

## ■ 時刻の設定

時刻表示に関する設定は「GPS」メニューで行います。

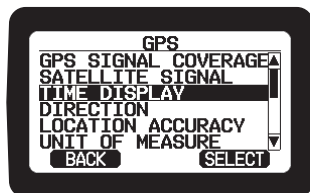
- 1 **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブを回して「GPS」メニューを選び、**SELECT** を押し

「GPS」のメニューが表示されます。

※ **[PUSH/SEL SQ]** ノブを押ししてもメニューを開くことができます。

- 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「TIME DISPLAY」設定を開く

- 3 **[PUSH/SEL SQ]** ノブと **CH [▲] [▼]** キーで以下の設定を行う



<b>LOCAL TIME</b>	<b>LOCAL TIME FORMAT -</b> 時刻の表示形式を、12 HOUR (12 時間表示) または 24 HOUR (24 時間表示) に切り換えます。 <b>LOCAL TIME ADJUST -</b> 地域標準時からプラスマイナス 1 時間の時刻のシフトができます。 ※ 日本国内では 0 に設定してください。 <b>DAYLIGHT SAVING -</b> 夏時間 (サマータイム) を設定します。「ON」にすると 1 時間進んで表示されます。 ※ 日本国内では「OFF」に設定してください。
<b>UTC (24H)</b>	時計を協定世界時 (UTC) 表示に切り換えます。

# ■ 操作モード・ウォッチモードについて

## ■ 操作モード

本製品には、通常・スキャンの2つの操作モードがあります。

操作モード	機能	モードの切り換え
通常	選択した1つのチャンネルで受信（モニター）・送信を行います。	本製品の初期モードです
スキャン	<b>メモリスキャン</b> メモリーチャンネル（⇒35ページ）に設定した全てのチャンネルをモニターします。	<b>MEMSCN</b> ソフトウェアキーを押す
	<b>オールスキャン</b> 全ての受信チャンネルをモニターします。	<b>ALLSCN</b> ソフトウェアキーを押す

## ■ ウォッチモード

上記の操作モードに加え、以下の2つのウォッチモードがあります。

各操作モードとウォッチモードをそれぞれ組み合わせて運用することができます。

ウォッチモードは、選択しているチャンネルを受信しながら、指定のチャンネル（16チャンネル）／優先チャンネル（PRIORITY CHANNEL）を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合は、そのチャンネルに切り換えます。

ウォッチモード	機能	モードの切り換え
デュアル*	16チャンネルを1.5秒おきにモニターします。	<b>DUAL</b> ソフトウェアキーを押す
トリプル	16チャンネルおよび優先チャンネル（PRIORITY CHANNEL）を1.5秒おきにモニターします。	<b>TRI</b> ソフトウェアキーを押す

\* 初期設定は「トリプルウォッチ」です。「デュアルウォッチ」モードでお使いになりたい場合は、「RADIO SETUP」メニュー（⇒30ページ）で設定を変更してください。



# ■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

## スキャンモードについて

スキャンとは、メモリーチャンネルを自動で切り換えながら信号のあるチャンネルをサーチし、検出する機能です。

### お知らせ

・スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります（⇒ 35 ページ）。

本製品は、スキャンモード単体で、あるいは各ウォッチモードと組み合わせて運用できます。

- スキャンモード（⇒ 36 ページ）  
全てのメモリーチャンネル、または全てのチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + デュアルウォッチ（⇒ 37 ページ）  
16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
- スキャンモード + トリプルウォッチ（⇒ 37 ページ）  
16 チャンネルおよび優先チャンネル（PRIORITY CHANNEL）を 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

## ウォッチモードについて


ウォッチモードは、特定のチャンネル\*を一定間隔でモニターし、信号あるいは警報を受信した場合にはそのチャンネルに切り換えます。

\* デュアルウォッチの場合

他のチャンネルを受信しながら 16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターします。

\* トリプルウォッチの場合

他のチャンネルを受信しながら 16 チャンネルと優先チャンネル（PRIORITY CHANNEL）を 1.5 秒おきにモニターします。

 モニターは 1.5 秒間隔で行われます。ただし送信している間はモニターを行いません。

# ■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

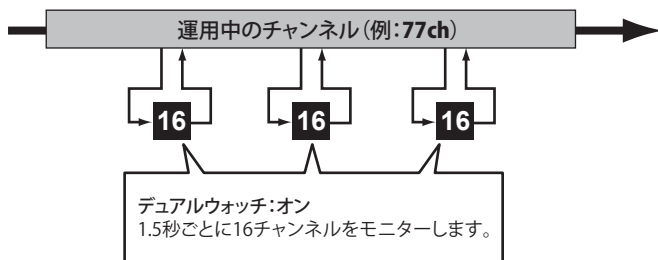
## ■ ノーマルモードとウォッチモードを組み合わせて運用する

ノーマルモード中に**DUAL**または**TRI**を押す

👉 解除するときにはもう一度押します。

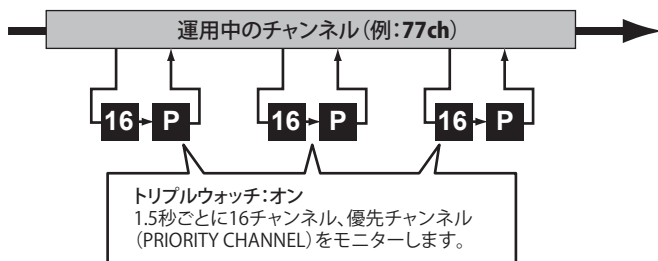
### ● デュアルウォッチの場合

運用中のチャンネルの他に 16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターします。



### ● トリプルウォッチの場合

運用中のチャンネルの他に、16 チャンネルおよび優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL) を 1.5 秒おきにモニターします。



# ■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

## メモリーチャンネルを設定する／解除する

スキャン操作をするには、あらかじめメモリー（スキャン対象）チャンネルを設定しておく必要があります。設定／解除は以下の手順で行います。

### ■ 選局中のチャンネルを設定する

1 設定（または解除）したいチャンネルを選ぶ

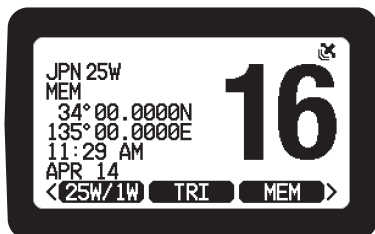
2 **MEM** を押す

設定されるとディスプレイに「MEM」が表示されます。

以降そのチャンネルを選局した際は、常に「MEM」が表示されます。

もう一度押すと解除されます。

（解除した場合は「MEM」が消えます。）



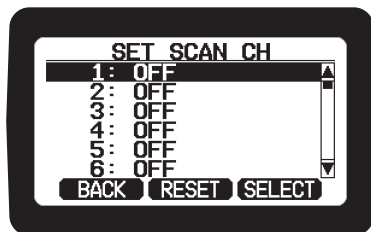
### ■ メニューで設定する

1 **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブで「SET SCAN CH」を選ぶ

**[PUSH/SEL SQ]** ノブを押すと、設定画面が表示されます。

2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブ、または **CH** **[▲]** **[▼]** キーで設定（または解除）したいチャンネルを選び、**SELECT** を押して「オン」または「オフ」に設定する

**RESET** を押すと、すべてのチャンネルをオフにできます。



# ■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

## スキャン操作のしかた

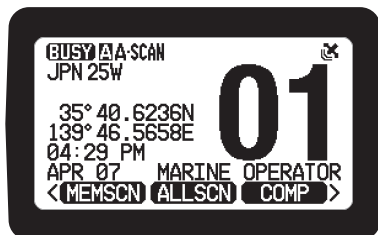
### ご注意!

- ・あらかじめメモリーチャンネルにチャンネルが2つ以上登録されていないと、スキャンモードは動作しません (➡前ページ)。
- ・スキャン中は送信できません。

## ■ スキャンモードにする

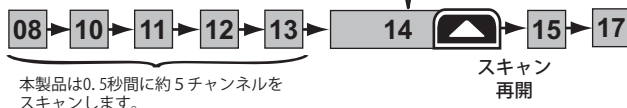
**MEMSCN** (または**ALLSCN**) を押す

<b>MEMSCN</b>	全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
<b>ALLSCN</b>	すべてのチャンネルをスキャンします。



ディスプレイには「M・SCAN」(またはA・SCAN)の表示と、スキャン対象となるチャンネル番号が表示されます。

スキャン中に信号を検出するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。信号が途絶えるか、または[▲]キーを押すとスキャンを再開します。



スキャン中に信号を受信するとスキャンを一時停止し、そのチャンネルを選局します。スキャンを再開させたいときは**CH** [▲] キーを押してください。

☞ 選局中に受信した信号が途絶えた場合は、自動的にスキャンを再開します。

## ■ スキャンモードを終了する

(スキャンモード中に)**MEMSCN** (または**ALLSCN**) を押す  
スキャンを終了します。

# ■ 操作モード・ウォッチモードについて (つづき)

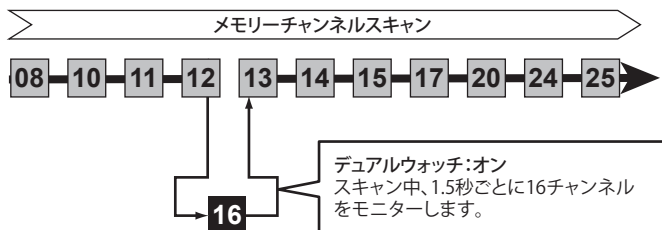
## ■ スキャンモードとウォッチモードを組み合わせる

(スキャンモード中に) **DUAL** または **TRI** を押す

☞ 解除するときにはもう一度押します。

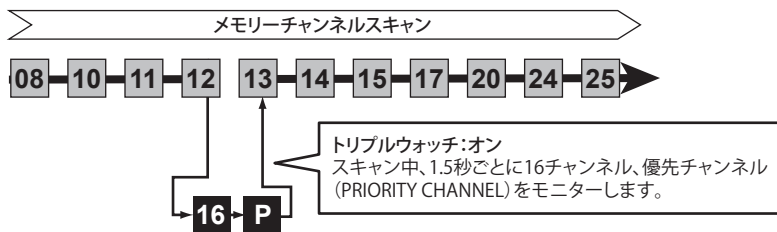
### ● デュアルウォッチの場合

16 チャンネルを 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



### ● トリプルウォッチの場合

16 チャンネルおよび優先チャンネル (PRIORITY CHANNEL) を 1.5 秒おきにモニターしながら、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。



# DSC (デジタル選択呼び出し) 機能について

## DSC 機能をお使いになる前に

### DSC とは

DSC (デジタル選択呼び出し) は、MMSI 番号を使用して、特定の相手局またはグループを素早く簡単に呼び出せる機能です。DSC 機能には以下の 4 種類があります。

<b>DISTRESS コール (遭難警報)</b>	※ <b>緊急時にのみ使用します。</b> 地上局、および付近を航行する DSC 無線機を搭載したすべての船舶に対し、DISTRESS コール (遭難警報) を送信します。
<b>個別呼び出し</b>	特定の相手局を個別に呼び出します。 既に登録されている相手局の名前から探すか、または相手の MMSI 番号を入力して呼び出すことができます。
<b>グループ呼び出し</b>	グループ MMSI が同じすべての船舶を呼び出します。 グループ全体に同時に呼び出しするときに使用します。
<b>全船呼び出し</b>	※ <b>安全上の警告 (たとえば水中のデブリ)、または緊急事態にのみ使用します。</b> 航行に注意を要す状況 (漂流物など) を知らせたり、トラブルなどで最寄の相手に救援を要請したいときなどに、信号の届く範囲を航行している船舶全てを呼び出すことができます。

# DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

## ■ DSC の動作

DSC 規格では、VHF チャンネルのチャンネル 70 をデジタル送信専用チャンネルにしています。デジタル送信は、音声送信よりも少ない帯域幅を必要とするため、チャンネル 70 は音声チャンネルがビジーとなる問題を回避します。無線機はチャンネル 70 を使用して、MMSI 番号を音声チャンネルと一緒に他局に送信します。

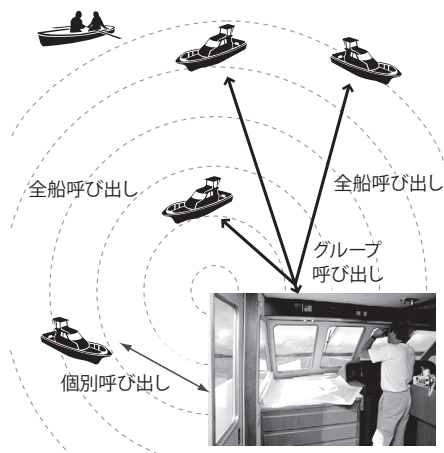
相手局が呼び出しを受け付けた場合、両方の無線機が自動的に要求された音声チャンネルに切り換わり、その相手局と通話できます。

DSC は、自動化された遭難警報のためのシステムも提供しています。本機はキーに触れるだけで、GPS 受信機からのデータに基づいて、MMSI 番号、遭難／緊急事態の程度、現在の位置を発信できます。無線機は、受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、数分ごとに遭難警報を繰り返し発信します。最新の電話機で良く使われている「コンタクト」機能および「グループテキスト」機能と同様に、本機では個別のコンタクト先をグループディレクトリの個別ディレクトリおよびグループに保存できます。

ヨットレースの安全を調整していると仮定します。レース開始前に、すべてのレーサーにグループの MMSI 番号を無線機に入力するように指示します。

レース中:

- ・ レース全体を通して、グループ呼び出しを使用して、時刻、レースステータス、およびコース修正に関して、レーサーのデータを更新する。
- ・ 満員のパワーボートがレースのコースに近づきすぎる。個別呼び出しでパワーボートに連絡し、レースコースから離れるようにアドバイスする。
- ・ レース区域に入ってくる手漕ぎボートが見えるが、無線機がないので、そのボートと通信できない。危険性がある区域の他のすべての船舶に警報を発するため、全船呼び出しを利用する。



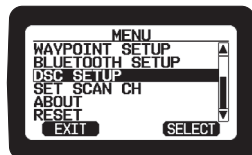
# DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

## DSC の設定

DSC の設定は必要に応じて変更できますが、初期設定をしておくことをおすすめ致します。

- 1** [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブを回して「DSC SETUP」メニューを選び、**SELECT** を押す

「DSC SETUP」メニューが表示されます。



- 2** [PUSH/SEL SQ] ノブと CH [▲] [▼] キーで、設定を変更する

<b>RADIO MMSI NUMBER</b>	自局の MMSI 番号を表示します。
<b>CURRENT POSITION</b>	現在位置を表示します。現在位置はマニュアル (手入力) で設定できますが、GPS データがある場合はマニュアル設定されたデータは上書きされます。
<b>INDIVIDUAL DIR.</b>	呼び出しを行うための個別の MMSI 番号を管理します。
<b>GROUP DIRECTORY</b>	呼び出しを行うための MMSI グループを管理します。
<b>INDIVIDUAL REPLY</b>	呼び出しへの応答を、自動または手動で行うかを選択します。 次の画面が表示されます。 - 個別呼び出し ACK - 位置情報要求 ACK - テストコール ACK
<b>INDIVIDUAL ACK.</b>	受信確認 (Acknowledge) 要求を、自動または手動で行うかを選択します。 <div data-bbox="431 1018 1042 1235" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><b>ご注意!</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・自動にすると、位置情報要求に応答して現在位置を自動的に発信します。ほとんどの船舶運航者は、安全上の理由で、または船舶牽引サービスに加入しているため、自動位置応答をアクティブにしていますが、場合によっては (たとえば、競合状況によっては)、運航者が確認しないと他の船が自船の位置を取得できないことがあります。</li></ul></div>
<b>INDI. CALL RING</b>	個別呼び出しのアラームが鳴る時間を設定します。 (5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 1 分 / 2 分)
<b>WAIT FOR POS FIX</b>	位置フィックス要求を待つ時間を設定します。 (15 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 1 分 / 2 分 / 5 分)
<b>AUTO POLLING TIME</b>	オートポーリング要求を待つ時間を設定します。 (30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分)



# DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

<b>AUTO POS POLLING</b>	オートポーリングの設定します。 <b>AUTO POS REQUEST</b> – 他の個別船舶に、位置を要求します。 <b>AUTO POS REPORT</b> – 自船の位置を他の個別船舶に送信します。
<b>DSC ALARM SETUP</b>	特定のコールタイプのアラームのオン/オフを切り換えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><b>ご注意!</b> ・遭難警報タイプのアラームはオフにできません。</div>

## DSC の個別およびグループディレクトリの設定

DSC ディレクトリには、最大 100 個の個別 MMSI 番号と、50 個のグループ MMSI 番号を保存できます。また、MMSI 番号の追加、編集、削除も行えます。

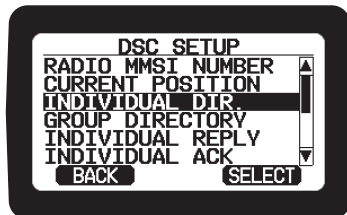
### ■ 個別ディレクトリの管理

- 1** **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブを回して「DSC SETUP」メニューを選び、**SELECT** を押す

「DSC SETUP」メニューが表示されます。

- 2** 「INDIVIDUAL DIR」を選び、**SELECT** を押す

個別ディレクトリ画面が表示されます。

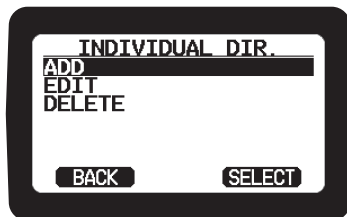


- 3** 「ADD」を選び、**SELECT** を押す

「NAME」と「MMSI」が画面に表示されます。

#### ご注意!

- ・既存の個別船舶を変更するには、手順 3 で「EDIT」を選び、表示されるリストからその船名を選択します。
- ディレクトリから個別の船舶を削除するには「DELETE」を選び、個別の船舶を選んで確定します。



- 4** 「NAME」を選び、**SELECT** を押す

ポップアップキーボードが表示されます。

# DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

- 5 キーボードで船名を入力後、**FINISH**を押す

※ 文字入力のみかた (→ 15 ページ)  
個別ディレクトリ画面が再表示されます。



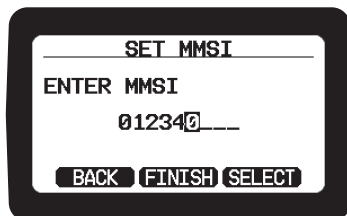
- 6 「MMSI」を選び、**SELECT**を押す

- 7 MMSI 番号を入力する

[**PUSH/SEL SQ**] ノブを回して番号を選び、**SELECT**を押して選んだ番号を決定します。

- 8 入力が終わったら、**FINISH**を押す

個別ディレクトリ画面が再表示されます。



- 9 入力した MMSI 番号と船名を保存するには、**SAVE**を選ぶ

## ■ グループディレクトリの管理

ユーザー MMSI 番号とは異なり、グループ MMSI 番号は自分で作成できます。  
グループ MMSI 番号は何度でも変更できます。

- 1 [**MENU**] キーを押し、[**PUSH/SEL SQ**] ノブを回して「DSC SETUP」メニューを選び、**SELECT**を押す

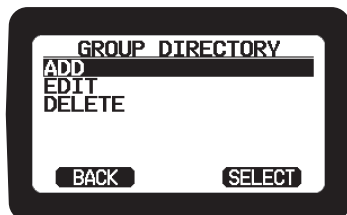
「DSC SETUP」メニューが表示されます。

- 2 「GROUP DIRECTORY」を選び、**SELECT**を押す

グループディレクトリ画面が表示されます。

- 3 「ADD」を選び、**SELECT**を押す

グループディレクトリ追加画面が表示されます。



### ご注意!

- 既存のグループを変更するには、手順3で「EDIT」を選び、表示されるリストから当該のグループ名を選択します。  
ディレクトリからそのグループを削除するには、「DELETE」を選択して当該グループ名を選び、削除されたことを確認します。

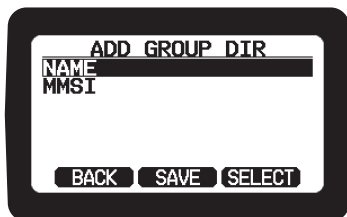
# DSC 機能をお使いになる前に (つづき)

- 4 「NAME」を選び、**SELECT**を押す  
ポップアップキーボードが表示されます。

- 5 キーボードでグループ名を入力後、**FINISH**を押す  
※ 文字入力のしかた (→ 15 ページ)  
グループディレクトリ画面が再表示されます。



- 6 「MMSI」を選び、**SELECT**を押す



- 7 グループの MMSI 番号を入力する  
[PUSH/SEL SQ] ノブを回して番号を選び、**SELECT**を押して選んだ番号を決定します。

## ご注意!

- ・グループ MMSI 番号は 9 桁である必要があります。  
また、グループ MMSI のひと桁目の数字は「0」に  
固定されています。



- 8 入力が終わったら、**FINISH**を押す  
グループディレクトリ画面が再表示されます。

- 9 入力した MMSI 番号と船名を保存するには、**SAVE**を選ぶ

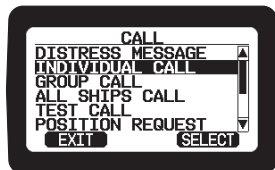
# DSC 機能を使う

## DSC コール

### ■ 個別呼び出し

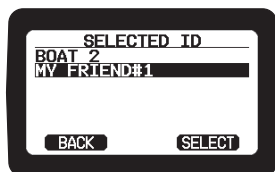
#### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



#### 2 [PUSH/SEL SQ] ノブで「INDIVIDUAL CALL」を選ぶ

保存した局のリストを示す ID 選択画面が表示されます。



#### 3 [PUSH/SEL SQ] ノブで呼び出したい相手局を選ぶ

選択した船舶の MMSI と送信チャンネルが表示されます。

#### 4 [PUSH/SEL SQ] ノブでチャンネルを選ぶ

**MANUAL** を押すと、船舶間チャンネルとすべての音声チャンネルとの切り換えができます。



#### 5 **SEND** を押す

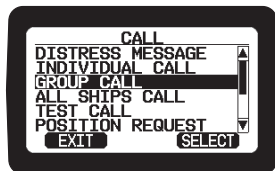
選択されたチャンネルで呼び出し要求を送信します。相手局が呼び出しを受け入れると、双方の無線機は音声送信のために選択された応答チャンネルに切り換わります。

#### 6 相手局が応答しない場合は、**RESEND** または **EXIT** を押す

# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ グループ呼び出し

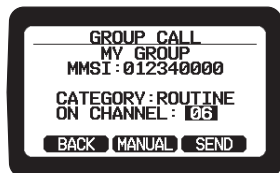
- 1 送受信画面で **CALL** を押す  
「CALL」メニューが表示されます。



- 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「GROUP CALL」を選ぶ  
グループ呼び出し画面が表示され、保存したグループの一覧が表示されます。

- 3 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで呼び出したい相手局またはグループを選ぶ  
選択したグループの MMSI と送信チャンネルが表示されます。

- 4 **SEND** を押す  
選択されたチャンネルで呼び出し要求を送信します。  
相手局が呼び出しを受け入れると、双方の無線機は音声送信のために選択された応答チャンネルに切り換わります。



- 5 相手局が応答しない場合は、**RESEND** または **EXIT** を押す

# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ 全船呼び出し

全船呼び出しは、自船の範囲内のすべての DSC 無線機に連絡を行います。

安全警告 (水中のデブリなど) が発生した場合、または緊急時 (重大な問題があるが、まだ遭難していない状況) に支援を要請する場合にのみ使用します。

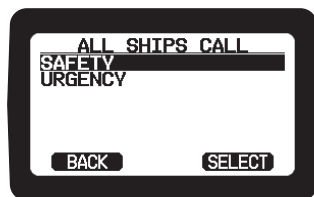
### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



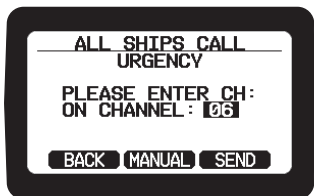
### 2 [PUSH/SEL SQ] ノブで「ALL SHIPS CALL」を選ぶ

全船呼び出し画面が表示され、「SAFETY」(安全性) または「URGENCY」(緊急性) を選ぶ画面が表示されます。



### 3 [PUSH/SEL SQ] ノブでいずれかを選び、送信するチャンネルを入力し、**SEND** を押す

送信された全船呼び出しの種類、呼び出しが送信されたチャンネル、およびカウントダウンロックが表示されます。受信確認 (Acknowledge) を受信すると、指定された応答チャンネルに自動的に切り換わります。



### 4 カウントダウンロックが終了すると、別のカウントダウンロックを開始する呼び出しは再送信するか、またはキャンセルできます。

# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ 呼び出しに応答する (個別呼び出し/グループ呼び出し/全船呼び出し)

本機が他局から DSC コールを受信すると、着信アラームが鳴り、発信局またはグループの MMSI 番号と、その呼び出しのチャンネル番号が表示されます。

### ご注意!

- ・本機には、遭難警報に受信確認〈Acknowledge〉を送出する機能はありません。  
受信確認〈Acknowledge〉を送出できるのは、海上保安庁または認定された捜索救助機関のみです。

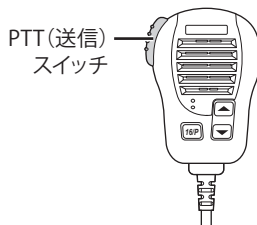
## 1 警報を停止するには、**STOP ALARM** を押す

チャンネルが選択された状態でメイン画面に戻ります。



## 2 他の船舶と交信するには、呼び出し中にマイクの PTT (送信) スイッチを押し続ける

交信が終わったら、PTT (送信) スイッチを離します。



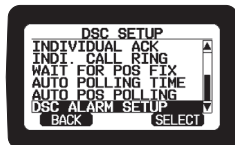
# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ 呼び出しへの自動応答

他局からテストコールや位置情報要求などの呼び出しが送信された際に、それらの呼び出しに手動で応答するか (MANUAL)、自動で応答するか (AUTO) を選択できます。

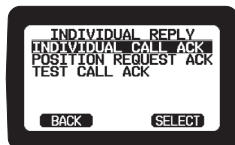
- 1 **[MENU]** キーを押して「DSC SETUP」メニューを選び、**SELECT**を押す

「DSC SETUP」メニューが表示されます。



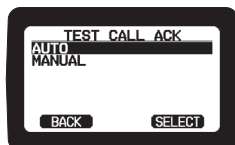
- 2 「INDIVIDUAL REPLY」を選び、**SELECT**を押す

個別応答画面が表示されます。



- 3 着信した呼び出しの種類 (個別呼び出し、位置情報要求、またはテストコール) ごとに呼び出しの種類を選び、**SELECT**を押す

- 4 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「AUTO」を選ぶ





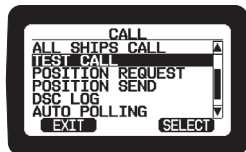
# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ テストコールの発信

点検の際など、本機が正しく動作していることを確認するため、特定の相手局にテスト信号を送出することができます。

### 1 送受信画面で**CALL**を押す

「CALL」メニューが表示されます。

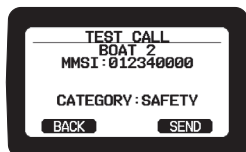


### 2 [PUSH/SEL SQ] ノブで「TEST CALL」を選ぶ

自船の個別ディレクトリから船名リストが表示されます。

### 3 [PUSH/SEL SQ] ノブで船舶を選び、**SELECT**を押す

選択した相手局の情報が表示されます。



### 4 **SEND**を押す

TEST CALL 画面に「WAITING FOR ACK」のメッセージが表示されます。受信確認(Acknowledge)を受信できない場合は再発信するか、または**BACK**を選択して元の画面に戻ります。

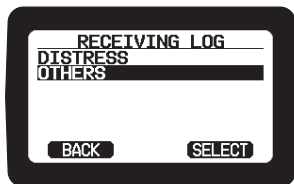
# DSC 機能を使う (つづき)

## DSC コールログ

本機は発信した呼び出し履歴と、DSC ログで受信した最新の履歴各 50 件を記憶しています。未読の DSC コールを受信した場合は、画面にメッセージアイコンが表示されます。

### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



### 2 [PUSH/SEL SQ] ノブで「DSC LOG」を選ぶ

DSC ログ画面が表示され、履歴の種類（「TRANSMITTED LOG」と「RECEIVED LOG」）が表示されます。

### 3 「TRANSMITTED LOG」または「RECEIVED LOG」を選ぶ

選んだいずれかの履歴の直近 50 件のログが表示されます。ログは受信した順に表示され、最新のログが先頭に表示されます。



### 4 [PUSH/SEL SQ] ノブを使ってログを選び、詳細を確認する

DSC コールの種類により、表示される情報は異なります（下表参照）。

DSC コールタイプ	ログの情報
Distress	MMSI（または船名）、位置、時刻、ネイチャーコード
Distress Acknowledge	MMSI（または船名）、遭難 MMSI、位置、時刻、ネイチャーコード
All Ships	MMSI（または船名）、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Group	MMSI（または船名）、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Individual	MMSI（または船名）、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Individual Acknowledge	MMSI（または名前）、Completed / Unattended、カテゴリコード、通信チャンネル番号
Test	MMSI（または船名）、カテゴリコード
Test Acknowledge	MMSI（または船名）、カテゴリコード
Pos Reply	MMSI（または船名）、位置、時刻、カテゴリコード
Pos Request	MMSI（または船名）、カテゴリコード
Pos Send	MMSI（または名前）、位置、時刻、カテゴリコード

# DSC 機能を使う (つづき)

**5** 履歴から呼び出しをするには、選んだログ画面で**CALL**を押す

**6** 特定のログのエントリを削除するには、**DELETE LOG**を押す

**7** ログ画面を閉じるには、**EXIT**を押す

# DSC 機能を使う (つづき)

## 位置情報要求

### ■ 位置情報要求を送信する

特定の相手局の位置情報を知りたいとき、相手局に「位置情報要求」を送信することができます。

#### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。



#### 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「POSITION REQUEST」を選ぶ

位置情報要求画面が表示され、個別ディレクトリに登録されている船舶の一覧が表示されます。

#### 3 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで船舶を選び、**SELECT** を押す

位置情報要求画面が表示されます。



#### 4 **SEND** を押す

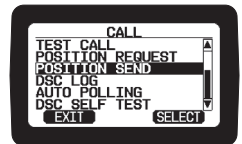
相手の船舶に位置情報要求を送信し、受信確認 (Acknowledge) を待ちます。応答がない場合は、**EXIT** を押して元の画面に戻ります。

### ■ 自局の位置情報を送信する

特定の相手局に自局の位置情報を送信することができます。

#### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。

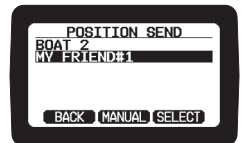


#### 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「POSITION SEND」を選ぶ

位置情報送信画面が表示され、個別ディレクトリに登録されている船舶の一覧が表示されます。

#### 3 **[PUSH/SEL SQ]** ノブを使って船舶を選ぶ

ディレクトリにない局に連絡する場合は、**MANUAL** を押して呼び出したい MMSI 番号を入力します。



#### 4 **SELECT** を押す

現在の位置情報とともに、連絡先の局の名前と MMSI 番号が表示されます。

#### 5 **SEND** を押す

現在位置の情報が他局に送信されます。

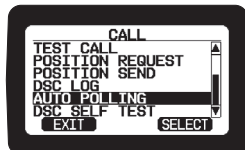
# DSC 機能を使う (つづき)

## ■ オートポーリングを使用する

オートポーリングを使用すると、最大7隻の個別船舶に対し、自動で位置情報要求を送信できます。また、最大7隻の個別船舶に対し、自動で自局の位置情報を送信できます。

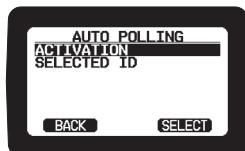
### 1 送受信画面で**CALL**を押す

「CALL」メニューが表示されます。



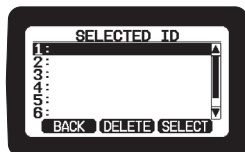
### 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「AUTO POLLING」を選ぶ

オートポーリング画面が表示されます。



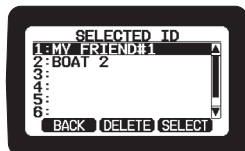
### 3 「SELECTED ID」を押す

ID の選択画面が表示されます。



### 4 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで行を選び、**SELECT**を押す

ID の選択画面には、保存されている個別ディレクトリのリストが表示されます。



### 5 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで船舶を選び、**SELECT**を押す

SELECTED ID リストが表示され、その連絡先がリスト表示されます。

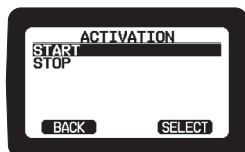
### 6 他の連絡先 (最大 7 件) に対し、手順 4 ~ 5 を繰り返す

### 7 **BACK**を押す

### 8 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「ACTIVATION」を選び、**SELECT**を押す

### 9 オートポーリングを開始するには**START**、終了するには**STOP**を選び、**[PUSH/SEL SQ]** ノブを押す

オートポーリングが開始されると、画面に「A」アイコンが表示されます (⇒ 13 ページ)。



# DSC 機能を使う (つづき)

## DSC セルフテスト

DSC セルフテストを行います。

### 1 送受信画面で **CALL** を押す

「CALL」メニューが表示されます。

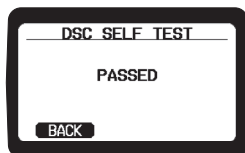
### 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「DSC SELF TEST」を選ぶ

DSC セルフテスト画面が表示されます。

### 3 **START** を押す

問題がなければ「PASSED」が表示されます。

「FAIL」が表示された場合は、ユニデンカスタマーサービスにお問い合わせください (→裏表紙)。

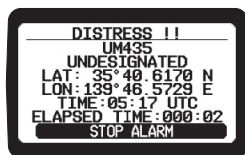


## DISTRESS コール (遭難警報) の受信

DISTRESS コール (遭難警報) を受信すると、本機は遭難警報音を鳴らし、遭難警報を送信した船舶の船名 (または MMSI)、遭難警報、緯度、経度、時刻、経過時刻を表示します。いずれかのキーを押すと、遭難警報音が停止します。

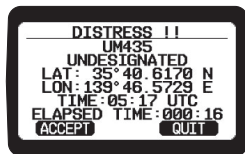
※ MMSI に一致するデータが個別ディレクトリ内にある場合は、船名が表示されます。一致しない場合は、MMSI が表示されます。

### 1 **STOP ALARM** を押す

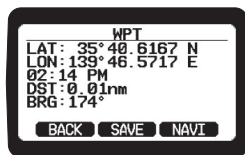


### 2 **ACCEPT** を押し、遭難警報内の位置データにウェイポイント (地点) を登録する

WPT 画面が表示されます。



### 3 **SAVE** を押し、座標をウェイポイントとして保存する



### 4 **NAVI** を押し、遭難警報を送信した船舶へのナビゲーションを開始する

# DSC 機能を使う (つづき)

## DISTRESS コール (遭難警報) の自動送信

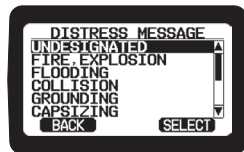
救助が必要な非常時には、下記の手順に従って DISTRESS コール (遭難警報) を送信してください。地上局、および付近を航行中の DSC 無線機を搭載したすべての船舶に対し、自動的に遭難警報を発信します。自動送信中は遭難アラート警報が鳴り、他局からの受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、約 4 分ごとに遭難警報の送信を繰り返します。

### ご注意!

- DISTRESS コール (遭難警報) は、救助が必要な非常時にのみ使用するものです。それ以外の場合には絶対に使用しないでください。
- DISTRESS コール (遭難警報) の送信には、あらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。(設定のしかた ➡ 22 ページ)
- [DISTRESS] キーを押した際、「ENTER USER MMSI」と表示された場合は、自局の MMSI 番号が設定されていません。この場合は [CLR SCAN] キーを押して送信を中止し、16 チャンネルを使用した手動送信 (➡ 8 ページ) を行ってください。

- 1** 遭難メッセージの種類を選択する時間がある場合は、**[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブで「DISTRESS MESSAGE」を選ぶ

遭難メッセージ画面が表示されます。



- 2** **[PUSH/SEL SQ]** ノブで、最も近い緊急事態の種類を選ぶ

UNDESIGNATED (不測の事態)	FIRE, EXPLOSION (火災、爆発)	FLOODING (浸水)	COLLISION (衝突)	GROUNDING (座礁)	CAPSIZING (転覆)
SINKING (沈没)	ADRIFT (漂流)	ABANDONING SHIP (船舶放棄)	PIRACY (海賊行為)	MAN OVERBOARD (落水)	

選択後、メインメニューに戻ります。

- 3** 保護カバー (赤色) を上げ、**[DISTRESS]** キーを約 3 秒間長押しする

遭難アラート警報が鳴り、必要に応じて GPS 位置を取得します。

- 4** 3 秒間の長押しの後、CH70 がビジーでなければすぐに遭難警報の自動送信を開始する

他局が送信した受信確認 (Acknowledge) を受信するまで、自動的に遭難警報を約 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。

※ 送信される遭難警報には以下の情報が含まれます。

・遭難の種類、位置情報

※ 送信を開始すると遭難アラート警報のピープ音が鳴り続けます。

※ 送信開始時は 70 チャンネル、その後 16 チャンネルに移行します。

※ 送信を中止するときは **CANCEL** を押します (➡ 次項参照)。

※ **PAUSE** を 1 回押すと遭難アラート警報のピープ音を消音します。さらにもう 1 回押すと「TX IN」のタイマーが停止し、遭難警報の送信を一時停止します。

※ 一時停止中に **RESUME** を押すと「TX IN」のタイマーが再開し、自動的に遭難警報を約 3.5 ~ 4.5 分間隔で繰り返し送信し続けます。

# DSC 機能を使う (つづき)

**5** 他局が送信した受信確認を受信すると遭難アラート警報が止まるので、PTT (送信) スイッチを押して以下の情報を伝える

- ①「メーデー (MAYDAY)」あるいは「遭難」
- ②「遭難船舶局の呼出名称 (呼出符号)、または他の識別表示」
- ③ 遭難した船舶の位置、遭難の種類および状況、ならびに必要な救助の種類、その他救助のため必要な事項

## ご参考

・DISTRESS コール (遭難警報) には、自船の位置情報および時刻が自動的に含まれて送出されます。本機に GPS レシーバーを接続しておけば、常に最新の位置情報および時刻が登録されていますので、正確な情報を送信することができます。GPS の位置情報が受信できない場合、頻繁 (最低 4 時間おき) に手動にてこれらの情報を入力しなければなりません。安全な航行のため、GPS 測位ができる状態で運用されることを強くおすすめ致します。

## DISTRESS コール (遭難警報) の取り消し

誤って遭難警報を送信した場合は、直ちにその旨を海上保安庁へ通報してください。

**1** **CANCEL** を押す

**2** 遭難警報の **CANCEL** が送信されたら **OK** を押す

**3** マイクの送信 (PTT) スイッチを押しながら次の内容を伝える

- ①「各局」(3 回繰り返す)
- ②「こちらは」
- ③ 船名 (3 回繰り返す)
- ④「自局の呼出符号または呼出名称」
- ⑤「〈MMSI 番号\*〉の遭難警報を取り消します。」(\*自局の MMSI 番号)
- ⑥「遭難警報を発射した時刻」

## ■ MOB ソフトウェアキー

※ Man Overboard (MOB) ソフトウェアキーは、メニューからの設定は不要です。本機はすぐに緯度、経度、時刻、BRG (Bearing to Destination: 目的地点方位)、DIST (Distance to Destination : 目的地点までの距離) を表示して保存します。

**1** **MOB** を選ぶと、現在位置が自動的に Man Overboard として登録される

ソフトウェアキーが **BACK**、**SAVE**、**NAVI** に変わります。

<b>BACK</b>	前のモードに戻り、現在の MOB 情報を保持します。
<b>SAVE</b>	位置を保存します。
<b>NAVI</b>	COMPASS 画面を開き、目的地点までナビゲーションします。



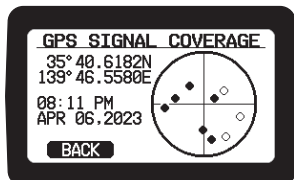
# GPS 機能について

## GPS 機能を使う

### ● 衛星のカバーエリアを表示する

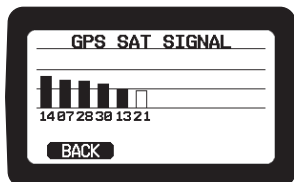
[MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブで「GPS」メニューを開き、「GPS SIGNAL COVERAGE」を開きます。

画面に衛星のカバーエリアが表示されます。黒い点はデータが有効な衛星、白い点はデータが無効な衛星を示します。



### ● 衛星電波の強さを表示する

「GPS」メニューから「SATELLITE SIGNAL」を選ぶと、衛星番号と電波強度を示すチャートが表示されます。

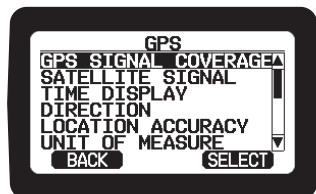


## ■ GPS の設定 (GPS メニュー)

GPS システムには自船の位置だけでなく、本機をより活用いただくためにカスタマイズ可能な機能がいくつか用意されています。

**1** [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブで「GPS」メニューを開く

**2** [PUSH/SEL SQ] ノブで設定したい項目を選び、[PUSH/SEL SQ] ノブを押す



GPS メニュー	
GPS SIGNAL COVERAGE	(上記「●衛星のカバーエリアを表示する」参照)
SATELLITE SIGNAL	(上記「●衛星電波の強さを表示する」参照)
TIME DISPLAY	ローカルタイムまたは UTC (協定世界時)、および 12 時間表示または 24 時間表示を選択します。(⇒ 31 ページ)
DIRECTION	COURSE UP (画面の上方がコース方向) または NORTH UP (画面の上方がコンパスの北方向) を選択します。
LOCATION ACCURACY	座標の表示単位を度・分 (ddd° mm. mmmm)、あるいは度・分・秒 (ddd° mm' ss") に設定します。

# GPS 機能を使う (つづき)

GPS メニュー	
UNIT OF MEASURE	<p>SPEED (速度) と DISTANCE (距離) の単位を選択できます。</p> <p><b>SPEED -</b> KNOTS (ノット)、MPH (マイル毎時)、KM/H (キロメートル毎時)</p> <p><b>DISTANCE -</b> NAUTICAL MILE (海里)、STATUTE MILE (マイル)、KILOMETER (キロメートル)</p>
STATIONARY POSITION	<p>オンにすると、船舶が移動していない場合、表示された位置情報は固定されます。</p>
NMEA INPUT PRIORITY	<p>複数のソースがアクティブな場合に、どの受信位置データが優先されるかを指定します。</p> <p>※ NMEA0183 または NMEA2000</p> <div data-bbox="543 566 823 742" data-label="Image"> <p>The screenshot shows a menu titled 'NMEA INPUT PRIORITY' with two options: 'NMEA0183' and 'NMEA2000'. 'NMEA0183' is highlighted with a black bar. At the bottom of the screen are two buttons: 'BACK' and 'SELECT'.</p> </div> <div data-bbox="364 750 1030 837" data-label="Text"> <p><b>ご注意!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無線機内部 GPS 受信機の優先度は常に最低に設定されています。</li> </ul> </div>
POS DATA OUTPUT	<p>位置データ出力用のポートを指定します。</p> <p>※ NMEA0183 または NMEA2000</p>
NMEA0183 OUTPUT	<p>NMEA0183 で送信する NMEA データの種類を選択します。</p>
NMEA0183 DATA SPEED	<p>NMEA0183 のデータ速度を選択します。</p> <p>(4800 bps または 38400 bps)</p>
NMEA2000 SETUP	<p>接続された NMEA2000 デバイスを検索します。</p>
INTERNAL GPS	<p><b>UNIT POWER -</b> 内部 GPS モジュールの電源オン/オフを選択します。 ※ NMEA0183 あるいは NMEA2000 経由で外部 GPS データを受信する以外は、必ず「ON」にしてください。</p> <p><b>D-GPS -</b> D-GPS のオン/オフを選択します。 ※ D-GPS は GPS の誤差を補正しますが、南半球では「OFF」にする必要があります。</p> <p><b>SELECT GPS ANTENNA -</b> GPS アンテナの切り換えをします。「USE INTERNAL ANT」(内部アンテナ)、「USE EXTERNAL ANT」(外部アンテナ)を選択します。 ※ 外部 GPS アンテナを接続していないときは必ず「USE INTERNAL ANT」(内部 GPS アンテナ)を選択してください。</p>

# ナビゲーション機能について

## ナビゲーションを使う

### ウェイポイント（地点）とルートを設定する

※ 目的地の緯度と経度はインターネットで検索することができます。

ウェイポイントディレクトリには、最大 250 個のウェイポイント（地点）を保存できます。

**MK POS** および **MOB** の各ソフトウェアキーで保存した位置情報も使用できます。

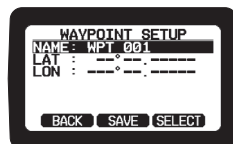
#### ■ ウェイポイントを設定する

**1** **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブで「WAYPOINT SETUP」メニューを選ぶ

**2** 「WAYPOINT DIRECTORY」を選び、**SELECT** を押す  
ウェイポイント設定画面が表示されます。



**3** 「ADD」を選び、**SELECT** を押す  
「NAME」、「LAT」、「LON」が画面に表示されます。



#### ご注意！

・既存のウェイポイントを変更するには、手順3で「EDIT」を選び、表示されるリストからウェイポイント名を選択します。ディレクトリからウェイポイントを削除するには、「DELETE」を選び、ウェイポイントを選択してから確定します。

**4** **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「NAME」を選び、**SELECT** を押す  
ポップアップキーボードが表示されます。

**5** キーボードでウェイポイントの名前を入力後、**FINISH** を押す

※ 文字入力のしかた (⇒ 15 ページ)  
ウェイポイント設定画面に戻ります。

**6** 「LAT」を選んで**SELECT** を押し、キーボードでウェイポイントの緯度を入力する

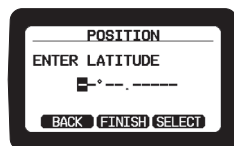


# ナビゲーションを使う (つづき)

- 7 完了したら **FINISH** を押す  
ウェイポイント設定画面に戻ります。

- 8 「LON」を選んで **SELECT** を押し、キーボードで  
ウェイポイントの経度を入力する

- 9 完了したら **FINISH** を押し、**SAVE** を押す

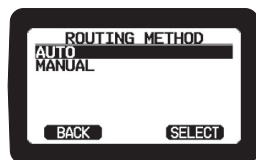


## ■ ルートを設定する

- 1 **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブで  
「WAYPOINT SETUP」を選ぶ

- 2 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「ROUTING METHOD」を選び、  
**SELECT** を押す

AUTO	画面が自動的に次の目的地点に変わります。
MANUAL	<b>NEXT</b> が押されるまで、次の目的地点へのナビゲーションが開始されません。



- 3 「ROUTE DIRECTORY」を選び、**SELECT** を押す  
ルートディレクトリ画面に、利用可能なルートのリストが表示されます。

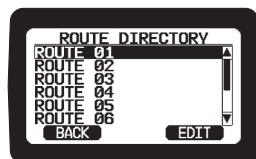
### ご注意!

- これらの設定は、ナビゲーション中には、設定または変更できません。変更を行うためには、まずナビゲーションモードを終了します。

- 4 **[PUSH/SEL SQ]** ノブでルートを選び、**EDIT** を押す  
「NAME」と「LIST」が画面に表示されます。

- 5 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで「NAME」を選び、  
**SELECT** を押す

ポップアップキーボードが表示されます。

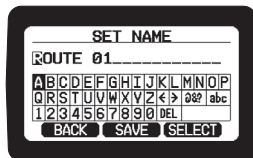


# ナビゲーションを使う (つづき)

6 ウェイポイントの名前を入力し、完了したら **SAVE** を押す

※ 文字入力のしかた (➡ 15 ページ)

「NAME」と「LIST」が再度画面に表示されます。



7 LIST を選んで **SELECT** を押す

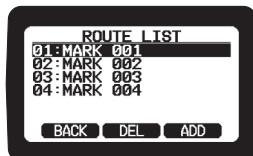
「ROUTE LIST」画面が表示されます。

8 **[PUSH/SEL SQ]** ノブで任意のルート順を選び、

**ADD** を押す

ポイントリスト画面が表示され、保存したウェイポイントのリストが表示されます。

9 ウェイポイントを追加するには、**[PUSH/SEL SQ]** ノブ  
でウェイポイントを選び、**ADD** を押す



10 ルートに追加するウェイポイントごとに、手順 8～9 を  
繰り返す

## ご注意!

- ・「01」の位置で選択したウェイポイントは、船舶をナビゲーションさせる最初のポイントになります。そのウェイポイントに到達すると、次のウェイポイント (02) に船舶をナビゲーションさせ、順次リストされているウェイポイントに従い、ナビゲーションを継続させます。

11 **BACK** を押して終了する

# ナビゲーションを使う (つづき)

## ナビゲーションを使う

**NAVI**を押すと、次の2つのメニューが表示されます。

<b>WAYPOINT DIRECTORY</b>	アクセスまたは編集のためにウェイポイントディレクトリを表示します。このリストには、 <b>MOB</b> および <b>MK POS</b> の各ソフトウェアキーによって保存された情報も含まれます。 ( <b>MOB</b> および <b>MK POS</b> で登録された地点が編集されないまま保存されている場合は、それぞれ MOB 001、MOB 002…および MARK 001、MARK 002…と表示されます。)
<b>ROUTE DIRECTORY</b>	アクセスまたは編集のためにルートディレクトリを表示します。

## ■ ウェイポイントナビゲーションの開始

### 1 「WAYPOINT DIRECTORY」を選ぶ

ウェイポイントディレクトリが表示されます。

※ 送受信画面で**WPT**を押しても表示できます。

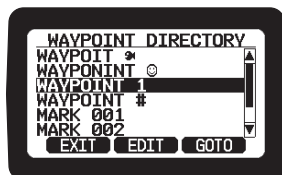


### 2 目的地点のウェイポイントを選び、**GOTO**を押す

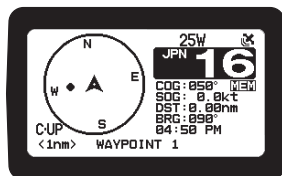
目的地点へのナビゲーションを開始します。

#### ご注意!

- ・ナビゲーションは、GPS からの位置情報がないと開始できません。ナビゲーション中に無線機を操作することはできますが、ナビゲーション中に位置情報（目的地点またはルート）の編集や変更はできません。



### 3 ナビゲーションを進めると、画面に位置情報が表示される

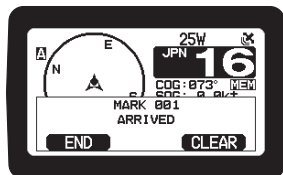


# ナビゲーションを使う (つづき)

## 4 目的地に到着すると到着メッセージが表示され、到着アラームが鳴る

ナビゲーションを続行する場合は **CLEAR**、終了する場合は **END** を押します。

※ ナビゲーションが続行された場合、通信可能範囲外に出た後に通信可能範囲に戻ると到着メッセージが表示され、再度到着アラームが鳴ります。



### ご注意!

- ・ **CLEAR** キーを押すと、ナビゲーションを停止できます。

## ■ ルートナビゲーションの開始

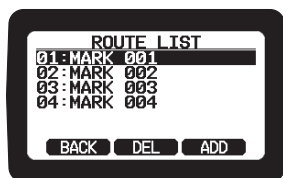
### 1 「ROUTE DIRECTORY」 を選ぶ

ROUTE リストが表示されます。

### 2 目的地へのルートを選び、**GOTO** を押す

最初の目的地へのナビゲーションを開始します。

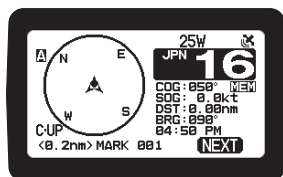
※ **NEXT** を押すと、その目的地をスキップできます。



### 3 最初の目的地に到着すると、到着アラームが鳴る

- ・ ルーティング方法が「MANUAL」に設定されている場合、各目的地に到着後、**NEXT** を押さない限り、次の目的地へのナビゲーションは開始されません。
- ・ ルーティング方法が「AUTO」に設定されている場合、最初の目的地に到着すると、次の目的地へのナビゲーションが自動的に開始されます。

※ ルーティング方法の設定について (⇒ 59 ページ)



### 4 目的地に到着すると到着メッセージが表示され、到着アラームが鳴る

ナビゲーションを続行する場合は **CLEAR**、終了する場合は **END** を押します。

※ ナビゲーションが続行された場合、通信可能範囲外に出た後に通信可能範囲に戻ると到着メッセージが表示され、再度到着アラームが鳴ります。

# ナビゲーションを使う (つづき)

## パラメータの設定

コンパスの表示範囲、およびコンパスの表示方法（コースが上方向、またはコンパスの北が上方向）は、GPSメニューで設定できます。ナビゲーションシステムが目的地点に到着したと判断する距離についても、GPSメニューで設定することができます。

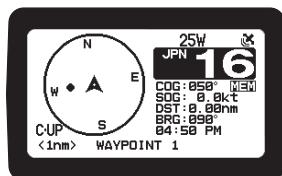
※「GPSの設定（GPSメニュー）」（➡ 57 ページ）

目的地点を表すドットが画面に表示されます。目的地点までの距離が表示範囲（丸の端に達するドットにより示される）を超えた場合は、表示範囲を手動で調整するか、GPSを「AUTO」に設定する必要があります。

「AUTO」に設定すると、画面上に目的地点が表示され続けるよう表示範囲が自動的に調整されます。

ナビゲーション中、画面に次の情報が表示されます。

COG	Course over ground (対地コース)
SOG	Speed over ground (対地速度)
DST	Distance (距離)
BRG	Bearing (方位)
01:29 PM	現在の時刻
Destination	コンパス上にドットで示される目的地点
C-UP/N-UP	Course UP (画面上方向がコース) / North UP (画面上方向が北)
表示範囲 (センターからの距離)	<1nm>
目的地点	ウェイポイント 1





# NMEA について

## NMEA の運用

本機は船舶機器間のデータ通信規格である NMEA 0183 (バージョン 4.10) に対応しています。NMEA データには、船舶に関するさまざまなセンテンス (データ) が含まれており、無線機が DSC コールで別の船舶の位置データを受信すると、無線機は位置データを海図プロッターに送信し、位置が確認できるようにします。

また、NMEA0183 規格に加え、GPS に接続するための NMEA2000 ポートを搭載しています。  
※「NMEA2000 PGN リスト」(➡ 72 ページ)

### ■ NMEA0183 入力

本機は以下のデータに対応しています。

DSC コールタイプ	RMC	GLL	GNS	GGA	ZDA
UTC 時刻	○	○	○	○	○
ステータス (有効/無効)	○	○	○	○	×
緯度/経度	○	○	○	○	×
速度	○	×	×	×	×
コース	○	×	×	×	×
日付	○	×	×	×	○

×：データ未提出 ○：提供データ

DSC コール (遭難、位置応答、または位置送信) を受信すると、NMEA 出力ポートから DSC データと DSE データを次の形式で出力します。

- \$CDDSC,12,3081234000,,07,00,0354013946,0657,,,S,E\*6D
- \$CDDSE,1,1,A,3081234000,00,60875646\*13

いくつかのデータが受信される場合 (たとえば RMC および GLL)、以下の優先順に基づき情報を使用します。

- ステータス : RMC > GLL > GNS > GGA
- 緯度/経度 : RMC > GLL > GNS > GGA
- UTC 時刻 : RMC > GLL > GNS > GGA > ZDA
- 日付 : RMC > ZDA
- 速度/コース : RMC

- 1) たとえば、GLL データのみを受信した場合は、速度、コース、および日付を表示できません。
- 2) たとえば、RMC データと GLL データの両方を受信した場合、RMC データの情報を使用します。ステータスデータは、どの GPS データが有効であるか、または無効であるかをチェックするために使用されます。

# ■ NMEA の運用 (つづき)

本機は RMC、GLL、GNS、GGA および ZDA データに対応しています。これらのデータが受信されると、緯度／経度、日付、時刻、コース、および速度を表示します。各データには、以下の情報が含まれます。

## ■ 位置データ出力

<b>POS DATA OUTPUT</b>	NMEA データ出力のポートを指定します。
<b>NMEA0183 OUTPUT</b>	送信する NMEA データを選択します。
<b>NMEA0183 DATA SPEED</b>	使用する NMEA データ出力速度を設定します。 (4800bps または 38400bps)

NMEA デバイスが最初に無線機からデータを受信しない場合は、アクセサリケーブルの接続、NMEA0183 DATA OUTPUT および NMEA DATA SPEED のパラメータを確認します。

「POS DATA OUTPUT」メニュー (⇒ 58 ページ) で NMEA0183 が「ON」になっていることを確認します。

## ■ NMEA2000 設定 (NMEA2000 SETUP MENU)

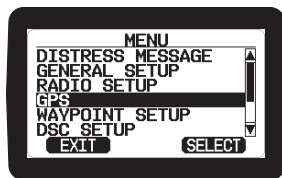
NMEA2000 の設定は「GPS」メニューの「NMEA2000 SETUP」から行います。

NMEA2000 SETUP メニュー	
<b>SELECT DEVICE</b>	NMEA2000 の接続デバイスを選択します。(⇒ 67 ページ)
<b>DEVICE NUMBER</b>	NMEA2000 のデバイス番号 (DEVICE NUMBER) を 000 ~ 255 に変更できます。(初期値 000)
<b>SYSTEM NUMBER</b>	NMEA2000 のシステム番号 (SYSTEM NUMBER) を 00 ~ 15 に変更できます。(初期値 00)

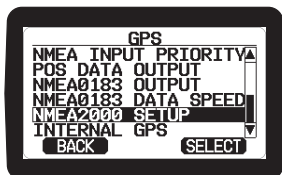
# NMEA の運用 (つづき)

## ■ NMEA2000 デバイス選択 (SELECT DEVICE)

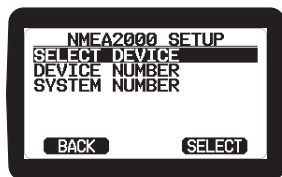
1 [MENU] キーを押し、[PUSH/SEL SQ] ノブで「GPS」メニューを開く



2 [PUSH/SEL SQ] ノブで「NMEA2000 SETUP」を選ぶ

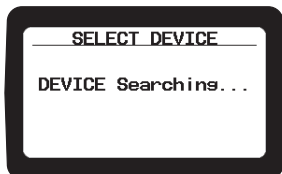


3 [PUSH/SEL SQ] ノブで「SELECT DEVICE」を選ぶ



4 **SEARCH** を押す

接続されたデバイスを検索し、接続されたデバイスが「SELECT DEVICE」画面に表示されます。



5 デバイスに接続するには、デバイス名を選び、**SELECT** を押す



## 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。(⇒裏表紙をご覧ください。)

症状	ここをチェック	対処	参照ページ
電源が入らない	電源ケーブルは接続されていますか？	接続を確認してください。	18
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズ切れの原因を特定し、対処したのちヒューズを新しいものに交換してください。	19
スピーカーから音が出ない	スケルチレベルが高すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	21
	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	21
スピーカーから常に雑音をする	スケルチレベルが低すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	21
送信が停止する	一度に5分以上連続して送信していませんか？	一旦送信を終了し、再度送信してください。	23
他の送信出力を選択できない	1W 出力専用のチャンネルを選択していませんか？	チャンネルを変更してください。	23, 70
送信はできるが応答がない	日本チャンネルモード以外のチャンネルに設定されていませんか？	「RADIO SETUP」メニューの「CHANNEL MODE」で日本チャンネルモードを選択してください。 ・日本チャンネルモードを選択すると、ディスプレイ部に「JPN」と表示されます。	20
送信はできるが応答がない (PTTスイッチを押すと「INTERCOM TALK」と表示される)	画面に「INTERCOM」と表示されていませんか？ (リモートマイク UMRMIC)、別売品接続時)	インターカムモード中は送信できません。インターカムを解除してください。	27

# 故障かなと思ったら (つづき)

症状	ここをチェック	対処	参照ページ
DSC 機能が使えない DISTRESS コール (遭難警報) の自動 送信ができない	自局の MMSI 番号は本機に設定してありますか？	あらかじめ自局の MMSI 番号を本機に設定しておく必要があります。	22
メモリスキャンが スタートしない	メモリー (スキャン対象) チャンネルが 2 つ以上、設定されていますか？	メモリー (スキャン対象) チャンネルにチャンネルを 2 つ以上設定してください。	35
キーを押しても 音が鳴らない	キータッチ音の設定が「オフ」になっていませんか？	キータッチ音の設定を「オフ」以外にしてください。	28
キーの照明が 消えている	バックライトの設定が「オフ」になっていませんか？	バックライトの設定を「オフ」以外にしてください。	28
チャンネル番号が 点滅する	スキャンモード、ウォッチモードに設定していませんか？	スキャンモード、ウォッチモード中はチャンネル表示部にスキャン中のチャンネル番号が交互に表示されるため、異常ではありません。	34, 36, 37
電源をオンにすると、 「POSITION DATA NOT ACQUIRED」 というメッセージが 表示される	搭載 GPS の設定がオフになっていませんか？	GPS の接続と設定を確認してください。あるいは手動 (MANUAL) で位置情報を設定してください。	57

## 工場出荷時の設定に戻す (設定初期化)

本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

### ご注意!

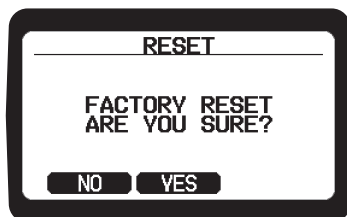
- ・自局の MMSI 番号は消去できません。

- 1 **[MENU]** キーを押し、**[PUSH/SEL SQ]** ノブで「RESET」を選ぶ

RESET 画面が表示されます。

- 2 設定を初期化するには**YES**を押す

本機が再起動し、自局 MMSI 番号を除くすべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。



# ■チャンネルリスト

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
01	156.050	160.650
02	156.100	160.700
03	156.150	160.750
04	156.200	160.800
05	156.250	160.850
06	156.300	156.300
07	156.350	160.950
08	156.400	156.400
09	156.450	156.450
10	156.500	156.500
11	156.550	156.550
12	156.600	156.600
13	156.650	156.650
14	156.700	156.700
15*	156.750	156.750
16	156.800	156.800
17*	156.850	156.850
18	156.900	161.500
19	156.950	161.550
20	157.000	161.600
21	157.050	161.650
22	157.100	161.700
23	157.150	161.750
24	157.200	161.800
25	157.250	161.850
26	157.300	161.900
27	157.350	161.950
28	157.400	162.000
60	156.025	160.625
61	156.075	160.675
62	156.125	160.725
63	156.175	160.775
64	156.225	160.825
65	156.275	160.875
66	156.325	160.925
67	156.375	156.375
68	156.425	156.425
69	156.475	156.475
70**	156.525	156.525

CH	周波数 (MHz)	
	送信	受信
71	156.575	156.575
72	156.625	156.625
73	156.675	156.675
74	156.725	156.725
75*	156.775	156.775
76*	156.825	156.825
77	156.875	156.875
78	156.925	161.525
79	156.975	161.575
80	157.025	161.625
81	157.075	161.675
82	157.125	161.725
83	157.175	161.775
84	157.225	161.825
85	157.275	161.875
86	157.325	161.925
87	157.375	157.375
88	157.425	157.425

\* 1W 出力専用のチャンネルです。

\*\* DSC 送受信専用のチャンネルです。  
(選択できません)

# NMEA2000 PGN リスト

受信 PGN	
59392	ISO アクノリッジメント
59904	ISO リクエスト
60160	ISO トランスポートプロトコル、データ転送
60416	ISO トランスポートプロトコル、接続管理
60928	ISO アドレスクレーム
65240	ISO コマンドアドレス
126208	NMEA 2000 リクエスト/コマンド/アクノリッジメント、グループ機能
126996	NMEA 2000 製品情報
127237	方位/トラックコントロール
127250	船首方位
127258	磁気偏角
128259	速度
129025	位置、迅速な更新
129026	COG と SOG、迅速な更新
129029	GNSS 位置データ
129033	ローカルタイムのオフセット
129539	GNSS DOP
129540	視野内の GNSS 衛星
送信 PGN	
59392	ISO アクノリッジメント
59904	ISO リクエスト
60928	ISO アドレスクレーム
126208	NMEA 2000 リクエスト/コマンド/アクノリッジメント、グループ機能
126464	NMEA 2000 送信/受信 PGN リスト、グループ機能
126993	ハートビート PGN
126996	NMEA 2000 製品情報
126998	NMEA 2000 構成情報
129025	位置、迅速な更新
129026	COG と SOG、迅速な更新
129029	GNSS 位置データ
129539	GNSS DOP
129540	視野内の GNSS 衛星
129799	無線周波数/モード/電源
129808	DSC コール情報

# おもな仕様

般仕様	日本チャンネル (JPN)	送信周波数範囲：156.025 ~ 157.425MHz 受信周波数範囲：156.300 ~ 162.000MHz
	ウェザーチャンネル (WX)	受信周波数範囲：161.650 ~ 163.275MHz
	※ ウェザーチャンネルは米国、およびカナダで放送・運用されているサービスのため、日本の国内、海域および近海では受信できません。	
	チャンネル数	57ch (日本チャンネル) 10ch (ウェザーチャンネル)
	電波型式	音声：F3E、DSC：F2B
	使用温度範囲	- 15°C ~ + 55°C
	電源電圧	13.8V DC ± 15% (マイナス接地)
	消費電流 (13.8V 時)	約 4.6A (送信時：25W)
		約 1.0A (送信時：1W)
		約 0.5A (待ち受け時) 約 1.2A (受信最大出力時)
	アンテナインピーダンス	50 Ω (不平衡)
	NMEA2000 LEN	1
	外形寸法 (突起部を除く)	151 (W) × 86 (H) × 64 (D) mm
	重量	約 1.0kg
送信部	送信出力	25W/1W
	変調方式	リアクタンス変調
	最大周波数偏移	± 5.0kHz
	スプリアス発射強度	3.125 μW 以下
受信部	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
	受信感度	0.27 μV (Typ.) 12dB SINAD 時
	スケルチ感度	0.20 μV (Typ.)
	オーディオ出力	約 2W (8 Ω、10% 歪時)

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は本体底面に記載してあります。

# 別売品一覧

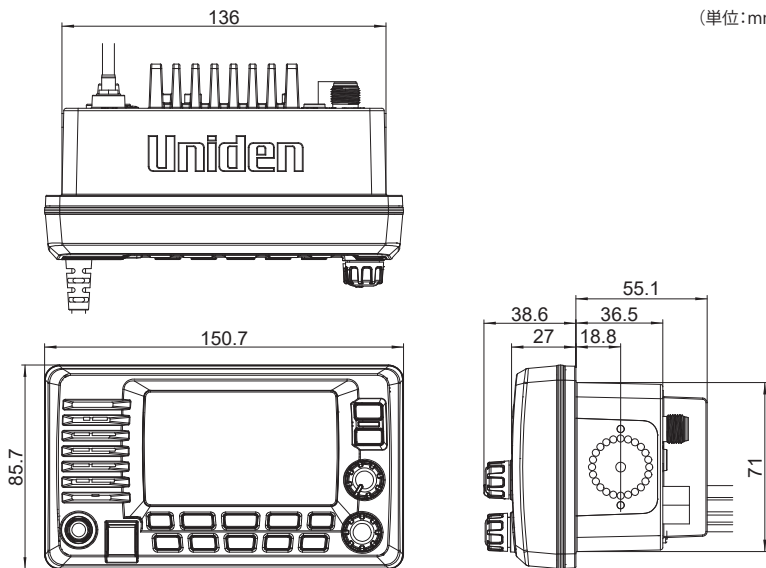
	品番	品名
付属品別売 (本製品に付属の ものと同じです)	BKT725WH	ブラケット (白色) ※ UM725GJ WH 用
	BKT725BK	ブラケット (黒色) ※ UM725GJ BK 用
	KB725WH	ブラケット取付用ノブ (白色) ※ UM725GJ WH 用
	KB725BK	ブラケット取付用ノブ (黒色) ※ UM725GJ BK 用
	BCTSRW725	ブラケット取付ねじ一式
	MKHGR725	マイクハンガー
	HGRSCW725	マイクハンガー取付ねじ一式
	WZ1362	DC 電源コード
	WZ2008	アクセサリケーブル
	別売品 (オプション)	UMRMICJ BK
UMRCBL		リモートマイク延長ケーブル (約 7m) ※ UMRMBL は 2 本まで接続できます。リモートマイク UMRMICJ に付属のケーブル約 7m 含め、合計約 21m まで延長できます。
FMB323		フラッシュマウントブラケット



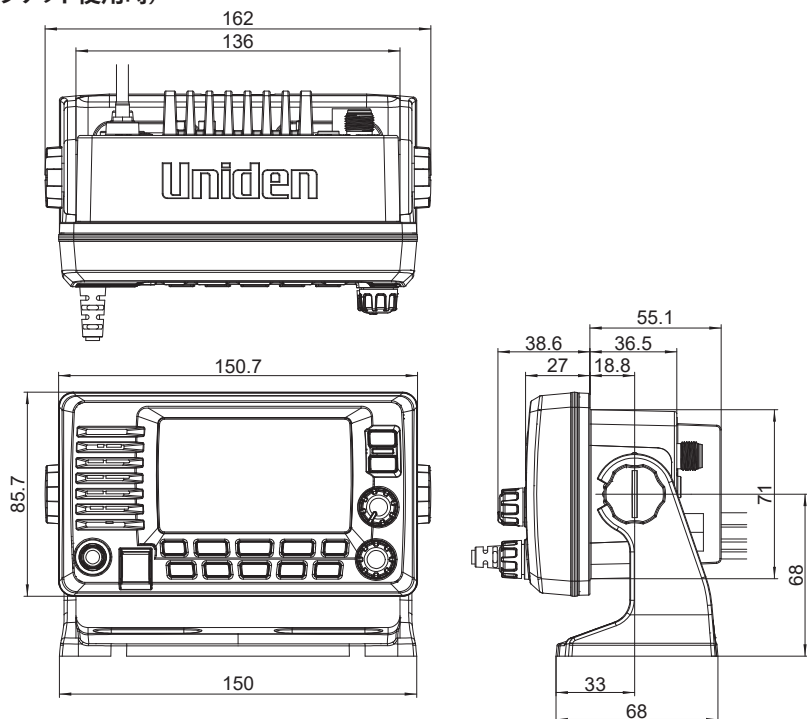
# 外形寸法図

## ■本体

(単位:mm)



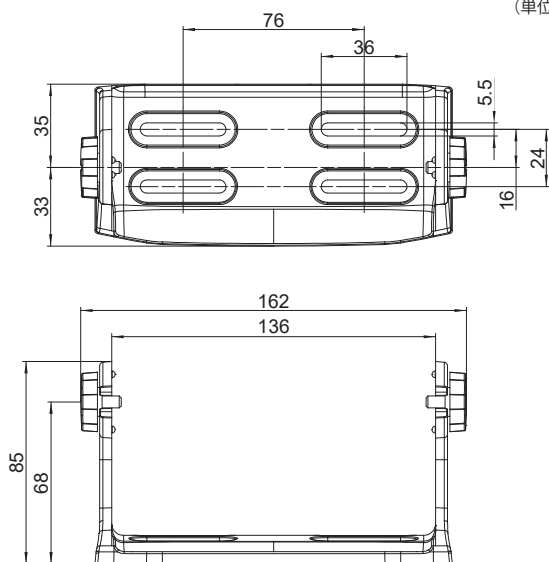
## ■本体(ブラケット使用時)



# ■外形寸法図 (つづき)

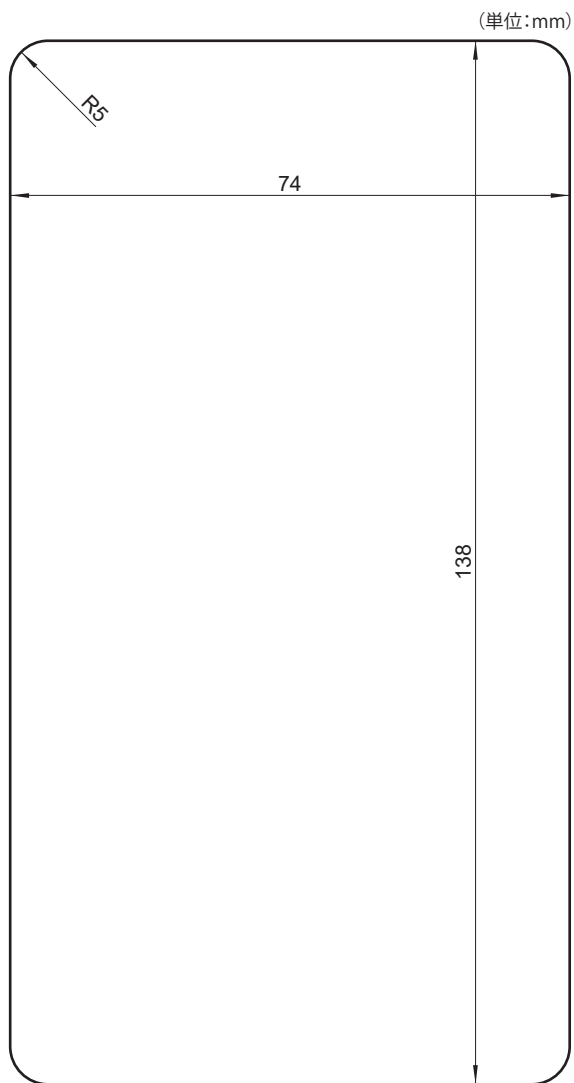
## ■ブラケット

(単位:mm)



# ■外形寸法図 (つづき)

■ フラッシュマウントブラケット (FMB323、別売品) 取付用開口寸法【原寸大】



最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

[http://www.uniden.co.jp/uniden\\_jp/](http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/)



### 安全に関するご注意

ご使用前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 取り付け・取りはずしは専門の技術者に依頼してください。
- 操船や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。

[http://www.uniden.co.jp/uniden\\_jp/support/manualdl.html](http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/support/manualdl.html)

### 愛情点検



### 長年ご使用の製品の点検を！

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながる場合があります。

このような  
症状は  
ありませんか

- ケーブルが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。

### ご使用中止

故障や事故防止のため、本機を取り外し必ず<ユニデン>お客様センターにご相談ください。

### 保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、領収書や納品書などのご購入証明書と共に大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
- 本製品の補修用修理部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。但し、部品製造者側での早期製造打ち切りや入手困難な状況に伴い、期間満了以前に対応出来なくなる場合がありますので予めご了承願います。

### 注意事項

- 本機は日本国内向け仕様となっております。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデンホールディングス株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の登録商標または商標です。

<ユニデン> お客様センター

当社製品のお取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

サポートダイヤル

**03-5543-2232**

E-mail

**usupport@uniden.co.jp**

<ユニデン> 製品情報サイト

**[http://www.uniden.co.jp/uniden\\_jp/](http://www.uniden.co.jp/uniden_jp/)**

UM725GJ 取扱説明書

発行日： 2023年4月 第1版

ユニデンホールディングス株式会社  
〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7  
<http://www.uniden.co.jp/>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。  
あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Holdings Corporation  
U01UT662FZZ(0)